

教育委員会資料 別冊
平成30年7月25日
(教育部総務)

平成30年度

久留米市教育施策要綱
(案)

久留米市教育委員会

はじめに ～久留米市教育行政の基本指針～

久留米市は、平成 12 年(2000 年)に 21 世紀における都市づくりの指針となる久留米市新総合計画 基本構想を定め、「水と緑の人間都市」を都市づくりの基本理念に、「誇りがもてる美しい都市 久留米」、「市民一人ひとりが輝く都市 久留米」、「活力あふれる中核都市 久留米」の 3 つの都市像を目指す都市の姿として掲げ、戦略性と協働性を基本視点とした都市づくりを総合的に進めています。

また、この都市の姿の実現に向けて、中期的に取り組む基本的な施策を体系的・戦略的に示し、久留米市の都市づくりの基盤となるものとして、平成 27 年度から 31 年度までを計画期間とした久留米市新総合計画第 3 次基本計画を策定し、持続的発展へ向けた都市づくりに取り組んでいるところです。

こうした中で、平成 27 年 11 月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に基づき設置した、「総合教育会議」における協議を経て、「一人ひとりを大切に、未来を担う人づくり」を基本理念とし、学校教育、社会教育などの基本方針・基本目標を定めた「教育に関する大綱」を定め、教育に関連する様々な計画により、施策目標等の達成に向けた取組を進めることとしています。

久留米市教育委員会では、この久留米市新総合計画第 3 次基本計画及び教育に関する大綱に掲げる基本理念と目指す都市の姿の実現に向けて、第 3 期久留米市教育改革プラン(市教育振興基本計画)をはじめとする教育に関連する様々な計画により、施策目標等の達成に向けた取組を推進しています。

その基本方針として、まず、「子どもの笑顔があふれるまち」にあっては、子ども一人ひとりが未来に希望を持ち、豊かな個性と才能を発揮しながら努力することの素晴らしさの分かる人間に育つ環境づくりを進めます。

「心豊かな市民生活を創造するまち」にあっては、生涯を通じた学習活動の支援やスポーツに親しめるような環境づくり、多様な文化芸術活動の創造や活性化、歴史的資源の魅力開発・発信や未来への継承、子どもたちの郷土愛を育む教育の実施を進めます。

「人権が確立されたまち」にあっては、同和問題をはじめとするあらゆる差別の解消と人権の確立に向けた都市づくり、男女共同参画社会の実現にむけた取組を進めます。特に、人権尊重が普遍的かつ最大の重要課題であることへの市民の相互理解のための教育、啓発の施策を推進します。

なお、こうした今後の教育行政の推進に当たっては、教育委員会及び事務局の活性化を図るとともに、市長部局はもとより、福岡県教育委員会や関係機関・団体との密接な連携を図る必要があります。

以上のような基本的な考え方を踏まえ、教育におけるより具体的な施策方針である平成30年度久留米市教育施策要綱を定めました。この教育施策要綱に基づき、教育課題の解決に向けて、広く市民の理解と協力を得ながら、積極的かつ継続的な教育施策・事業の推進に取り組んでいきます。

平成30年 月

久留米市教育委員会

目 次

I	教育施策の重点課題と対応方針	1
II	教育行政の主要施策の展開	
i	子どもの笑顔があふれるまち	
1	教育改革プランの推進	3
2	学校教育環境等の整備	12
ii	心豊かな市民生活を創造するまち	
1	生涯学習・社会教育の推進	13
2	歴史的資源の保護と活用	14
3	スポーツの推進	16
4	市民の自己学習の場としての図書館づくり	18
iii	人権が確立されたまち	19
III	教育施策の重点事業	20
IV	教育行政資料	

Ⅰ 教育施策の重点課題と対応方針

1 総括的な考え方

平成 30 年度は、「教育に関する大綱」における久留米市の教育理念と基本目標を踏まえ、平成 28 年 3 月に策定した「第 3 期久留米市教育改革プラン(以下「プラン」という。)」の 3 年目の年となる。そのため平成 30 年度は、プランに掲げた重点事項の評価指標の達成に向けて、教育施策・事業の着実な前進と教育の本旨である次代を担う人づくりに取り組むとともに、平成 32 年度がスタートとなる次期プランの策定を見据え、その成果と課題の抽出及び分析を行う必要がある。

具体的には、全国学力・学習状況調査において、全国平均正答率を超えるという目標を掲げる「学力の保障と向上」については、平成 29 年度は小学校国語 A が全国平均正答率を超え、その他も目標には届いていないものの、差は縮小傾向にある。このことからこれまで進めてきた学校における取組について、計画性と徹底度の向上を図り、学校・家庭・地域が連携した取組を推進する。そのほか、社会のグローバル化や情報技術の発達等を踏まえ、子どもたちの英語力の向上や ICT を活用した効果的な授業づくりの調査研究に取り組む。

また、不登校やいじめ問題への対応を重要な課題として認識し、その防止と解消に向けて、より一層のきめ細やかな取組を進めるとともに、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等による相談・支援体制の充実を進める。

さらに、情報の共有化や校務の効率化を目的に整備した学校 ICT 環境については、情報セキュリティの更なる向上を目指し、各学校に設置している校内サーバーを一元化する。加えて、全国的な問題となっている教職員の多忙化の解消についても、取組を進める。

学校施設の整備・充実については、安全かつ快適な教育環境の確保を目指し、国庫補助等の有利な財源を有効に活用しながら、老朽化した校舎等の増改築や長寿命化等に取り組む。

少子化に伴う学校小規模化への対応については、複式学級の解消に向け基本的な方向性を定めるとともに、関係者と十分な協議を重ねながら抜本的に対応を進めていく。

経済的事由で就学困難な世帯への就学援助については、平成 31 年度新入学児童生徒にかかる新入学学用品費を増額するとともに、平成 31 年度からの認定基準の見直しに向けて、システム改修や各世帯への効果的な周知を行う。

これらの事業を総合的に推進し、プランの目標である「ふるさと久留米を愛し、ともに社会を生き抜く力の育成」を目指す。

社会教育分野においては、県と連携して整備を進めてきた「久留米アリーナ」が、今年 6 月にオープンを迎えた。九州最大規模となる施設の活用により、市政の重要テーマ「スポーツを生かしたまちづくり」の実現に向けて、多くの人々が集い、市民が愛着や誇りを感じることができるよう、魅力ある事業の開催や久留米市を対外的に売り込む MICE の誘致に取り組むと共に、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成事業を推進する。

さらに、久留米市が有する歴史文化資源を、地域との協働により磨き上げるとともに、関係部局と連携しながら、その最大限の活用を図り、久留米市の魅力向上と地域の活性化に繋げていく。

あわせて、高齢者等を中心として市民の生涯学習ニーズが高まる中で、協働の視点を持ちながら、生涯学習や健康増進、図書館事業等の取り組みを進める。

これらの取組を進めるにあたっては、厳しい財政状況を踏まえ、行財政改革にも継続的に取り組み、効率的・効果的な事業実施に努めるとともに、子どもの貧困対策や青少年の健全育成等の視点に留意し、関係部局や様々な関係機関と緊密な連携を図りながら、協働した取組を進めていく。

II 教育行政の主要施策の展開

i 子どもの笑顔があふれるまち

1 教育改革プランの推進

第3期久留米市教育改革プランは、平成28年度からの4年間を計画期間としており、第1期及び第2期の教育改革プランにおける成果と課題を踏まえ、「ふるさと久留米を愛し、ともに社会を生き抜く力の育成」を目標とし、目指す子どもの姿を「夢に向かって学ぶくめっ子」としている。

従来からの取組の「効果の持続と課題の解消」を図るため、①わかる授業【学力の保障と向上】、②たのしい学校【安心・安全な学校づくり】、③久留米版コミュニティ・スクールの推進【学校・家庭・地域の協働】の3点から重点化を図り、施策を推進していく。また、3つの重点を支える施策として学校ICT環境整備を進め、教材等の共有や研修の充実、校務の効率化を図っていく。

なお、事業の実施にあたっては、教育改革プランの重点に沿った施策とその評価指標を設定し、その効果を検証していく。

◎第3期久留米市教育改革プランの施策と評価指標

重点	No.	施策	評価指標
重点1 わかる授業	1	授業改善への支援	全国学力・学習状況調査結果で全国平均を超える
	2	外国語教育の推進	中学校3年生までの英検3級の取得率が全国平均を超える（※英語教育実施状況調査結果）
	3	教師力向上への支援	授業がわかると答える児童生徒の割合や学校に行くのが楽しいと答える児童生徒の割合が全国平均を超える
重点2 たのしい学校	1	不登校対応	不登校の出現率が全国を下回り、復帰率が県を上回ることを維持しつつ、さらなる改善を目指す
	2	いじめ問題対応	いじめの認知件数が全国を上回り、解消率が全国平均を超える
	3	学校生活充実への支援	学校に行くのが楽しいと答える児童生徒の割合（再掲）や、自分にはよいところがあると答える児童生徒の割合が全国平均を超える
	4	学校安全への支援	日本スポーツ振興センター災害給付対象者が件数の減少（小学校）
重点3 久留米版コミュニティ・スクールの推進	1	学習習慣定着への支援	家庭等での学習時間の向上（1時間以上）
	2	地域学校協議会提言実働化への支援	地域学校協議会提言の達成率の向上

(1) 重点1 わかる授業【学力の保障と向上】

毎日の授業や校内研修の向上を図り、子どもに基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけさせるとともに、これらを活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を伸ばすことで、授業がわかり、学ぶ楽しさを感じることができる子どもを育てる。

また、全ての小・中学校で行われている「くるめ学」の学習や外国語教育を充実させるとともに、ICTの活用を一層進め、学力の保障と向上に努める。

◎主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
小・中学校学力・生活実態調査事業 【重点事業1】	学校教育課	小・中学校において、児童生徒の学力等の実態を把握し、分析・考察した結果を授業改善に活用することで、学力の保障と向上に努める。	計 11,014 小:7,955 中:3,059
小学校くるめ学力アップ推進事業 【重点事業2】	学校教育課	一人ひとりの児童へのきめ細かな対応を図るため、学校の状況に応じて非常勤講師を配置し、授業改善・補充学習・学習規律の確立に係る支援を行う。また、学生や地域ボランティアを派遣して放課後等に補充学習を行う。	54,650
中学校くるめ学力アップ推進事業 【重点事業3】	学校教育課	各中学校に非常勤講師を配置することで、教務担当主幹教諭を学力向上コーディネーターとして専任化し、学力向上の企画立案及び調整等を行う。また、学生や地域ボランティアを派遣して放課後等に補充学習を行う。	32,967
小・中学校特別支援教育支援員活用事業 【重点事業4】	学校教育課	通常学級や特別支援学級に在籍し、学習面や生活面で特別の支援を必要とする児童生徒に対して特別支援教育支援員を配置する。	計 100,874 小:82,366 中:18,508
「くるめ学」子どもサミット事業 【重点事業5】	学校教育課	「くるめ学」の学習成果を、児童生徒同士が発表し合う機会を設け、一層の充実を図るとともに、保護者や市民へ公開し、「くるめ学」の趣旨や意義を周知する。	584
教育ICT活用事業 【重点事業6】	学校教育課	ICT機器を活用した教育活動を推進するため、教育ICT活用推進校にタブレットパソコンを配備して、効果的な授業づくりの調査研究と授業実践に取り組む。【新規】	8,838
外国語指導助手活用事業 【重点事業7】	学校教育課 南筑高校 久留米商業高校	外国語（英語）教育の充実と国際理解教育の推進を図るため、外国語指導助手（ALT）を小・中・高等学校の授業において活用する。【拡充】小学校における配置時間増	計 67,492 小:28,253 中:30,845 高:8,394

小学校英語教育充実事業 【重点事業 8】	学校教育課	小学校において、新学習指導要領が掲げる外国語（英語）教育の充実を図るため、外国語教育推進校において、先進地の実施内容も踏まえた実践的な調査研究を行い、その成果を広く市内の学校に還元する。 【新規】	300
中学校英語教育充実事業 【重点事業 9】	学校教育課	英語教育の専門的な講師の指導のもと、プレゼンテーション等を通して実践的な英語力を育成する「くるめ英語留学体験事業」、ALTとの2泊3日の交流を通して、英語の学習意欲を高める「イングリッシュキャンプ事業」のほか、第3学年を対象に英語検定3級以上の取得を目指して検定料の全額負担を行う。 【拡充】くるめ英語留学体験	12,039
教職員研修事業 【重点事業 10】	教育センター	教育の専門家としての「確かな力量」「強い情熱」「人間力」を身につけた教職員を養成するために、教職員のライフステージや喫緊の教育課題に対応した研修計画を策定し、久留米市ならではの充実した研修を実施する。	13,127
小・中・特別支援学校図書活動の推進	教職員課	小・中・特別支援学校の学校図書館の充実を図るため、学校司書を配置する。	計 96,174 小：68,650 中：25,372 特支：2,152
学校事務支援事業	教職員課	小・中・特別支援学校に事務補助職員を配置することにより、学校事務の支援を行う。	計 94,622 小：61,301 中：31,939 特支：1,382
学校における働き方改革推進事業	教職員課	各学校にタイムカードを導入し、勤務時間を意識した働き方改革や、教職員の業務改善の取組を推進し、教職員の多忙化解消を図る。 【新規】	2,654
教育課題研究事業	教育センター	本市の教育課題を解決するため、調査研究に取り組み、市主催研修を通して、その成果を普及する。	869
教育活動支援事業	教育センター	教職員の教育活動を直接支援するため、授業づくりサポートの充実、ICT活用の推進、教育資料室の整備、教育情報の提供、理科教育の推進、教育論文の執筆奨励を図る。	2,571
教職員校内研修事業	学校教育課 教職員課	教職員の実践的な指導力を高めるため、教職員の研修や教科等の研究を推進する団体やグループに対して助成を行う。	計 2,671 小：1,298 中：758 特支：615
教科等教育研究推進事業	学校教育課	学校教育における各教科等の教育の充実を図るため、各種教科等研究会への補助金の交付を行う。	2,813

国・県・市教育研究実践指定事業	学校教育課	文部科学省や県教育委員会、市教育委員会が教育研究・実践指定校を指定し、研究実践活動を通して、教職員の能力の向上と教育活動の充実を図る。	計 5,000 小:2,500 中:2,500
-----------------	-------	---	-------------------------------

(2) 重点2 たのしい学校【安心・安全な学校づくり】

不登校やいじめ問題への対策を着実にを行い、児童生徒が安心して学べる学級や楽しい学校生活を送ることができるようにする。その中で、自分の大切さとともに、他者の大切さを認め、共感・協調できる子どもを育む。

また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置して、児童生徒や保護者の困りごとに対する相談体制の充実に取り組む。

さらに、校務運営の効率化を図ることで、教師が子どもと向き合う時間を確保し、安心・安全な学校づくりに努める。

◎主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
心の教育推進事業 【重点事業 11-1, 2】	学校教育課	心理に関する専門的な知識経験を有するスクールカウンセラーを配置し、児童生徒や保護者の困りごとに対して、解消に向けた支援、不安の解消、関係機関との連携等を図る。	計 32,276 小: 5,337 中: 11,016 SC 人件費15,923
スクールソーシャルワーカー活用事業 【重点事業 12】	学校教育課	福祉分野の諸制度等に関する専門知識を有するスクールソーシャルワーカーを市教育委員会に配置し、問題を抱えた児童生徒を取り巻く環境へ働きかけ、課題解決への対応を図る。	計 14,891 SSW 人件費14,192
小学校不登校対応総合推進事業 【重点事業 13】	学校教育課	児童の不登校や不登校傾向、問題行動の早期段階からの解消を図るため、小学校に生徒指導サポーターを配置する。	14,026
中学校不登校対応総合推進事業 【重点事業 14】	学校教育課	中学校の校内適応指導教室に助手を配置し、不登校及び不登校傾向にある生徒に校内の居場所を作り、生徒指導、進路指導及び学習支援を行いながら、教室へ復帰するための支援を行う。	33,404
不登校児童生徒対策事業 【重点事業 15】	青少年育成課	「らるご久留米」において、学校に行きたくても行けない児童生徒の基礎・基本の学力向上と、様々な体験活動を通して学校復帰等へ向けた「心の安定」と「心のエネルギーの回復」に努め、「自信の構築」、「基本的生活習慣の改善」を図る。また、臨床心理士との連携により、児童生徒及び保護者のサポートを強化する。	6,819

不登校児童生徒訪問指導事業 【重点事業 16】	学校教育課	家庭等にひきこもりがちな不登校児童生徒に対して訪問指導員を派遣し、児童生徒及びその保護者に対して、指導・支援を行い、適応指導教室への通級や学校への復帰を図る。	1,740
生徒指導充実事業 【重点事業 17】	学校教育課	専任生徒指導教員が配置されていない中学校に対して非常勤講師を配置し、当該教員が専任で生徒指導の諸問題への対応と解決を図る環境を整備する。	15,166
※再掲 教職員研修事業 【重点事業 10】	教育センター	教育の専門家としての「確かな力量」「強い情熱」「人間力」を身につけた教職員を養成するために、教職員のライフステージや喫緊の教育課題に対応した研修計画を策定し、久留米市ならではの充実した研修を実施する。	13,127
※再掲 教育課題研究事業	教育センター	本市の教育課題を解決するため、調査研究に取り組み、市主催研修を通して、その成果を普及する。	869
学校問題解決支援事業	学校教育課	保護者等からの要求や苦情等に対して、法的・専門的な分野の専門家からなる相談体制を確立し、学校への助言を行う。	312
健康増進特別事業	学校保健課	自然環境の中で、野外観察や集団活動等を行うことにより、心身の健康増進と社会的資質の向上を図る。	計 31,703 小：14,851 中：14,609 特支：2,243
生徒指導連絡協議会助成	学校教育課	問題行動等を防止し、児童生徒の健全な育成を図るため、生徒指導連絡協議会や学校警察連絡協議会に対して活動助成を行う。	計 858 小：117 中：690 高：51
スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカースーパーバイザー配置事業	学校教育課	教育相談体制の強化を図るため、経験豊かで専門的知見を有するスーパーバイザーを配置し、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーに指導助言を行う。	1,536

(3) 重点3 久留米版コミュニティ・スクールの推進【学校・家庭・地域の協働】

全ての小・中学校に設置している地域学校協議会を充実させ、提言の実働化と学校関係者評価の充実を図る。具体的には、地域人材の積極的な活用を図ることで、子どもたちの学習習慣の定着や基礎的・基本的な知識・技能の定着を中心とした取組、健やかな成長を支える生活習慣づくりの取組、健全育成の取組など推進する。

◎主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
※再掲 小学校くるめ学力アップ推進事業 【重点事業2】	学校教育課	一人ひとりの児童へのきめ細かな対応を図るため、学校の状況に応じて非常勤講師を配置し、授業改善・補充学習・学習規律の確立に係る支援を行う。また、学生や地域ボランティアを派遣して放課後等に補充学習を行う。	54,650
※再掲 中学校くるめ学力アップ推進事業 【重点事業3】	学校教育課	各中学校に非常勤講師を配置することで、教務担当主幹教諭を学力向上コーディネーターとして専任化し、学力向上の企画立案及び調整等を行う。また、学生や地域ボランティアを派遣して放課後等に補充学習を行う。	32,967
小・中学校コミュニティ・スクール(久留米版)推進事業 【重点事業18】	学校教育課	地域と共にある学校づくりのため、地域学校協議会を中心として学校・家庭・地域の連携を強化し、各学校の特色ある教育活動や中学校における学習習慣の定着支援としての放課後学習会モデル事業の実施など、教育課題に対応した取組を推進する。	計 31,291 小 19,777 中 11,514
P T A団体助成	教育部総務	家庭教育と学校教育との連携を深め、児童生徒の健全育成を図るため、久留米市小・中学校P T A連合協議会に対して補助金を交付する。	2,920

(4) 学校ICT環境整備

第3期久留米市教育改革プランの3つの重点を支える施策として学校ICTの環境整備を進め、教育イントラネットを活用した教材等の共有や研修の充実を図るとともに、児童生徒の多くの情報を一元的に集約・管理する校務支援システムによる校務の効率化と情報の有効活用を推進していく。

◎主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
学校ICT環境再整備事業 【重点事業19】	教育センター	学校・教育部間の情報共有や情報収集を迅速に行うための教育イントラネットについて、障害防止や障害発生時の対応を行い、安定的な運用を図る。また、学習指導や生徒指導に活用するために、児童生徒一人ひとりの様々の情報を一元管理する校務支援システムの保守、サポート体制を整えることで、システムの安定稼働・運用を行う。また、学校サーバを一元化することで、データの保護、セキュリティの強化を図る。	111,929
情報教育環境の充実	教育センター	教育用パソコンの整備を進めるとともに、その活用を推進するため、教育用ソフトの整備と必要なメンテナンスを行う。また、インターネットの活用により、情報の収集・発信・交流を行い、情報教育の充実を図る。	128,022

(5) その他の施策

◎主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
食育プログラム研究推進事業 【重点事業20】	学校教育課	子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるために、久留米市栄養教諭等研究会に対して助成を行う。	652
食育啓発・促進事業 【重点事業21】	学校教育課	学校・家庭・地域が連携し、子どもの食事や睡眠といった基本的な生活習慣の確立や生活リズムの向上を図る運動を展開する食育推進校のPTAに対して助成を行う。	420
医療的ケア対応事業 【重点事業22】	学校教育課	久留米特別支援学校の医療的ケアを必要とする児童生徒に対応するため、看護師を配置し、吸引・経管栄養・導尿等を実施することにより、子どもの状況に的確に対応できる安全な教育環境の整備を図る。	30,820

中学校美術教育振興事業 【重点事業 23】	学校教育課	第1学年の生徒が久留米市美術館等の企画展・常設展を鑑賞するためのバスの借り上げを行い、美術に対する興味を高め、豊かな心や郷土を愛する心を育む。	3,088
発達障害早期総合支援事業 【重点事業 24】	学校教育課	発達障害を有する児童生徒への早期からの相談支援の仕組みとして、「子ども発達相談教室」を設置する。また、ADHDのある子どもへの包括的治療プログラムを行う「くるめSTP」に対し補助金を交付する。	3,578
中体連・中文連助成賞賜金支給	学校教育課	中学生の体育・文化活動の充実を図るため、中体連・中文連の運営費を助成するとともに、各種大会等の助成、生徒の出場旅費の補助を行う。	計 23,128 補助金:21,464 賞賜金:1,664
中学校部活動活性化事業	学校教育課	(財)スポーツ安全協会のスポーツ安全保険に加入することで、外部指導者の指導中の事故等に対応する。	313
学校訪問看護支援事業	学校教育課	医療的ケアを必要とする児童生徒の保護者が、学校活動において訪問看護制度を活用する際の補助を行う。	6,389
中学校活性化事業	学校教育課	中学校の生徒会の交流を促進し、生徒会活動を活性化することで、生徒による学校運営の円滑化と課題の解決を図る。	186
特別支援教育進路指導事業	学校教育課	久留米特別支援学校の中学部及び高等部が実施する職場実習への支援を行う。また、職場実習助手や進路指導員を配置する。	4,199
就学相談事業	学校教育課	障害のある幼児児童生徒の就学先決定についての就学相談を実施し、自立及び社会参加に向けた基礎となる力を育む最適な環境を選択するための情報提供を行う。	1,362
定期健康診断	学校保健課	児童生徒及び教職員の健康診断を実施し、健康管理の推進を図る。	計 39,613 小:21,755 中:13,367 特支:1,560 高:2,931
歯科保健指導事業	学校保健課	学校歯科医の指導のもとに歯科衛生士を久留米市立小学校に派遣し、小学校2年生を対象に歯磨指導を行う。	913
感染症予防対策	学校保健課	学校における健康診断、応急措置等、学校保健に係る感染症予防対策を講じ、衛生面・安全面の向上を図る。	計 5,725 小:3,672 中:1,674 特支:87 高:292

学校保健会助成	学校保健課	各学校が実施する保健事業を支援することにより、学校保健衛生の普及向上に資する。	2,416
学校給食の充実	学校保健課	学校給食運営の効率化とともに、安全衛生管理の徹底や、給食施設・設備等の更新・修繕を行い、安全・安心な学校給食を提供する。	計 750,513 小 : 694,962 中 : 28,536 特支 : 27,015

2 学校教育環境等の整備

児童生徒がゆとりをもって快適に学校生活を送ることができるように、老朽化した学校施設の長寿命化対策や、トイレ改修等を行い、また、児童生徒の個々の状況への配慮並びに多様な学習が行える施設環境の整備に努める。

少子化に伴う学校小規模化への対応については、複式学級の解消に向けて基本的な方向性を定めるとともに、関係者と十分協議を重ねながら、抜本的に対応を進めていく。

加えて、社会状況の変化を踏まえ、各種就学支援制度の充実と就学環境の整備を進める。

◎主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)									
学校施設の整備充実 【重点事業 25】	学校施設課	児童・生徒の生命を守り、災害時の地域の避難施設を確保し、多様で新しい学習活動に対応した教育環境の整備を進めるため、学校施設の改築を計画的・効率的に行う。また、教室不足が生じている学校について、増築を行う。 【新規】増築1校(小森野小学校)	計:2,668,619 小:2,515,727 中:172,892 (うち増改築事業) 小:2,493,396 中:172,258 (繰越予算含む)									
学校施設長寿命化事業 【重点事業 26】	学校施設課	学校施設における建替コストの縮減、改修時期の調整による財政の平準化、環境負荷の低減などを図るために外壁・防水工事などの施設の長寿命化を図る。	計:597,953 小:400,338 中:105,275 特支: 755 高: 91,585 (繰越予算含む)									
学校施設維持管理事業	学校施設課	学校施設における機能の維持改善を図るとともに、安全で快適な学習環境づくりに向けた整備を行う。	計:326,646 小:188,726 中:114,920 特支: 3,700 高: 19,300									
空調機整備事業	学校施設課	耐用年数を超えている管理諸室(校長室、職員室、事務室、保健室、図書室、コンピュータ教室等)の既設空調機について更新を行う。	計:127,438 小:107,977 中: 19,371									
久留米市奨学金	学校教育課	経済的な理由により高等学校等の修学が困難な者に対し奨学金を給付する。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>入学一時金(円)</th> <th>月奨学金(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公立</td> <td>20,000</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>30,000</td> <td>7,000</td> </tr> </tbody> </table> ※高校生等奨学給付金の支給要件を満たさない者の月奨学金は7,000円		入学一時金(円)	月奨学金(円)	公立	20,000	5,000	私立	30,000	7,000	21,656
	入学一時金(円)	月奨学金(円)										
公立	20,000	5,000										
私立	30,000	7,000										
就学援助事業	学校保健課	小・中学校に通学する児童・生徒で、経済的理由により就学が困難な者に対し、学用品費・給食費等を支給。平成31年度の新入学生分から入学準備金の支給単価を増額するとともに、認定基準の見直しを行う。	計 572,377 小:326,498 中:245,463 特支: 416									

ii 心豊かな市民生活を創造するまち

1 生涯学習・社会教育の推進

市民の自主的・自発的な学習活動を促進するため、ニーズに対応した市民講座や教室を実施し、あらゆる世代への学習機会の提供に努めるとともに、社会教育団体の支援や地域人材の発掘と育成を図り、生涯学習・社会教育を通じた地域づくりに取り組む。

また、生涯学習センターをはじめとする社会教育施設やコミュニティセンターの生涯学習ネットワークを強化し、豊かな学びの場の整備と多様な学習情報の提供を図る。

さらに、市民の学習活動の拠点である社会教育施設を利用者が安全に安心して利用できるよう改修を進める。

◎主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
地域生涯学習振興事業 【重点事業 27】	生涯学習 推進課	校区等において実施される委嘱学級や土曜塾をはじめとする生涯学習事業に対して、財政支援や指導者の養成などの各種支援を行い、地域における生涯学習の振興を図る。	62,470
体験活動推進事業 【重点事業 28】	生涯学習 推進課	少年の翼、アドベンチャーキャンプ、わくわく遊友体験などの体験活動事業を通じ、団体生活の楽しさや友情の深まりなどを体験する場を創出し、子どもたちの自主性・協調性・創造性を育む。	4,859
社会教育団体支援事業	生涯学習 推進課	LLネットコアくるめや子ども会連合会、女性の会婦人会連絡協議会をはじめとする各社会教育団体の活動振興のため、財源支援や活動助言、指導等の各種支援を行う。	21,487
生涯学習センター活用事業	生涯学習 推進課	各地域における生涯学習センターを広く活用した各種講座等を実施することにより、市民の生涯学習の推進を図る。	9,185
生涯学習センター維持補修事業	生涯学習 推進課	えーるピア久留米をはじめ、各地域の生涯学習センターについて、経年劣化に応じた維持補修を行う。	67,722
そよ風ホール維持補修事業	生涯学習 推進課	そよ風ホールについて、経年劣化に応じた維持補修を行う。	16,513
城島総合文化センター維持補修事業	生涯学習 推進課	城島総合文化センターについて、経年劣化に応じた維持補修を行う。	4,610
城島ふれあいセンター維持補修事業	生涯学習 推進課	城島ふれあいセンターについて、経年劣化に応じた維持補修を行う。	1,000

2 歴史的資源の保護と活用

久留米市が有する歴史的な資源の適正な保護とその利用及び活用に努めるとともに、市民意識の醸成や地域文化の継承に役立てる。また、地域の活性化につなげるために、地域と連携した事業の展開を図る。

高良山から耳納北麓エリアにおける文化資源等を、歴史的な背景に基づくストーリーとして紹介・発信していくとともに、拠点や行程の環境整備等を行う。

◎主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
歴史博物館整備検討事業 【重点事業 29】	文化財保護課	地域文化を知り、創造し、継承するための生涯学習施設として歴史博物館整備について検討を図る。 六ツ門図書館展示コーナーや、久留米シティプラザでの展示を通じて、資料の活用を図り、博物館建設への市民意識の高揚を図る。	10,204
筑後国府跡歴史公園整備事業 【重点事業 30】	文化財保護課	久留米市を代表する文化遺産である筑後国府跡を、市民が身近な場所で歴史を感じることができる歴史公園として保存整備することにより、歴史学習を基調とした交流の場を提供し、市民の「郷土」に対する愛着心を高めるとともに、その魅力を未来に向けて継承する。	12,035
歴史ルートづくり事業 【重点事業 31】	文化財保護課	市内に数多く存在する歴史・文化遺産を整理・集積し、歴史的背景に基づくストーリーの設定や周知イベントの実施により、地域の魅力を発信する。同時に、拠点となる歴史的スポット等の整備を行い、安全で魅力的な環境づくりを推進し、交流人口の増加を目指す。	16,258
発掘調査事業	文化財保護課	国民の共有財産である貴重な埋蔵文化財を保護するため、開発により現状が維持できない場合は、記録保存を目的として、発掘調査を行う。わが国及び久留米地域の歴史・文化等の正しい理解を促し、市民の郷土愛を醸成するとともに、地域の文化活動の展開やまちづくり活動を支援する。	167,051
埋蔵文化財センター事業	文化財保護課	発掘調査に伴う出土品や記録類の集中管理及び調査研究を行う。また、市民の多様な文化的活動の展開を支援するため、発掘調査成果を公開する展示会や体験学習などの普及活動を実施する。	1,718

歴史的建造物保存整備事業	文化財保護課	市内に残る歴史的価値のある建造物の調査・保存整備・活用を図り、市民へ周知し、その魅力を内外に向けて発信できる人づくりとまちづくりを推進する。	982
史跡等環境整備活用事業	文化財保護課	地域の特性を生かした「歴史の広場」の整備を進め、説明板の設置などまちづくりの素材としても活用を図る。また、文化財の周知、普及活動を積極的に展開する。	3,890
坂本繁二郎生家活用事業	文化財保護課	坂本繁二郎生家は、久留米城下町に唯一残る武家屋敷を復原工事したもので、周知活用事業として体験講座等を実施するとともに、貸室利用促進に努める。また、歴史のプロムナードということで、関係施設等と連携を図り、地域の回遊性を向上させる。	427
文化財保護団体等育成事業	文化財保護課	文化財の管理、普及活動及び無形民俗文化財の継承を行っている団体に対し補助金の交付を行うことで、文化財の保護を図る。	1,446
文化財施設維持補修事業	文化財保護課	文化財収蔵館や埋蔵文化財センター等、文化財の保存及び活用施設の適切な維持管理のため、必要な改修または補修を計画的に実施することで、文化財の保護活用を図る。	3,240

3 スポーツの推進

市民がライフステージに応じて、身近な地域でスポーツに親しみ、健康づくりに取り組むことができるよう、「久留米市スポーツ振興基本計画」に基づき、各種スポーツ事業の実施や、スポーツ推進委員・各種競技団体・総合型地域スポーツクラブ等との連携など、市民スポーツの推進に努める。

また、県と連携して整備を進めてきた九州最大規模の総合体育館「久留米アリーナ」が、今年6月にオープンし、さらに充実した久留米総合スポーツセンターを活かし、全国・九州規模のスポーツ大会の誘致や、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を見据えた事前キャンプ地の誘致など、施設整備の効果を最大限に発揮する取り組みを進める。

あわせて、市民が安心して利用できるようスポーツ施設等の改修を進める。

◎主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
MICE 誘致推進事業 【重点事業 32】	体育スポーツ課	久留米アリーナのオープンや平成 32 年オリンピック・パラリンピックの開催などを見据え、全国・九州規模のスポーツ大会の誘致やオリンピック・パラリンピック参加チームの事前キャンプ地誘致を推進する。	23,764
スポーツ大会振興事業	体育スポーツ課	各種スポーツの全国・九州レベルの大会を誘致開催することにより、市民のスポーツ技術向上とスポーツを始めるきっかけをつくり、競技スポーツの振興を図る。 ○久留米国際女子テニス大会(30年5月) ○紫灘旗全国高校遠的弓道大会(30年8月)	6,611
スポーツ交流推進事業	体育スポーツ課	スポーツを通じて、近隣市町村および市民間の交流を推進し、お互いの友好親睦を深めることで活動の広域化を図り、市民スポーツを振興する。	5,667
スポーツ推進委員養成事業	体育スポーツ課	久留米市スポーツ推進委員連絡協議会が実施する指導者養成事業やスポーツ推進委員のスポーツ全般に関する知識・技術・指導力の向上を目的とした研修会・講習会等への参加を助成し、スポーツ推進委員の資質向上を図る。	8,496
(公財)久留米市体育協会助成事業	体育スポーツ課	市民スポーツの担い手である体育協会を通じて、各種競技団体の育成や市民スポーツの参加を促すための教室やイベントを開催するとともに、各種大会への参加奨励や青少年スポーツ活動等への助成を行う。	47,484

市民スポーツ推進事業	体育スポーツ課	<p>①市民が主体的にスポーツと触れ合う、校区等を中心とした新しい取り組みを提供し、気軽にスポーツに楽しめる環境を整備する。</p> <p>②国際大会等での活躍が期待できる久留米市ゆかりのジュニアアスリートが競技に専念できる環境整備の強化を図る。</p>	6,985
久留米総合スポーツセンター事業	体育スポーツ課	<p>久留米アリーナの円滑なオープンを迎えるとともに、久留米総合スポーツセンター内体育施設の管理運営を適切に行う。</p> <p><主な内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・福岡県への負担金（オープニング事業） ・福岡県への負担金（施設管理運営負担金） ・体育館周辺駐車場照明設備設計 ・体育館周辺駐車場整備・照明設備工事 ・新体育館備品購入費 	195,351
体育施設維持補修事業	体育スポーツ課	<p>スポーツ施設の老朽化に伴い、計画的に補修・改修を行うことにより利用者のサービス向上と社会体育施設の安全性を確保する。</p> <p><主な内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・久留米市野球場電光掲示板改修（グラウンド舗装・ラバーフェンス改修含む） ・田主丸テニスコート人工芝張替 ・城島体育館外壁改修工事 ・城島トレーニングセンター外壁・屋根防水改修工事 	331,947

4 市民の自己学習の場としての図書館づくり

市民一人ひとりの学びと情報の拠点として市民生活の充実と地域社会の発展を支える役割を果たすため、多様な図書資料や情報を収集・蓄積する。また、利用者が求める資料・情報の的確な提供に努め、企画展示や講演会の実施などにより市民に親しまれ、役に立つ図書館づくりに努める。

さらに、第3次久留米市子どもの読書活動推進計画に基づき、関係各部・各課と連携して着実な進展を図り、子どもの豊かな人間形成と学習活動の支援に取り組む。

あわせて、石橋文化センターや久留米市美術館との連携事業を充実し、市立図書館全体の総合力を高め、利用者サービスの充実及びまちづくりに貢献する図書館づくりに取り組む。

◎主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
子どもの読書環境整備事業 【重点事業 33】	中央図書館	<p>①第3次久留米市子どもの読書活動推進計画の実施 「第3次久留米市子どもの読書活動推進計画」(平成29年3月策定、計画期間平成29年度～平成31年度)に基づき、子どもが心豊かな生活を送れるよう本との出会いと読書習慣の定着を進めるため、子どもの読書活動を推進する環境整備を進める。</p> <p>②ブックスタート事業 子どもと絵本をつなぐきっかけづくりを目的として、子どもの健やかな成長などに効果があるブックスタート事業を実施する。</p>	5,977
図書館整備事業 【重点事業 34】	中央図書館	<p>①図書館施設・機能の整備充実 安全で快適な読書空間の提供と図書資料・情報の確保、積極的な情報発信に努めることで、図書館機能の充実を図り、市民の生涯学習ニーズに対応する。</p> <p>②福祉サービスの提供と市民との協働 ボランティアとの協働による録音・点字図書の製作や活用、対面朗読など福祉サービスを充実する。</p> <p>③図書館困難者へのサービス提供 高齢や障害、図書館遠隔地など、図書館を利用しにくい環境にある市民に対し、移動図書館巡回や団体貸出などのサービス提供に努める。</p>	61,439

iii 人権が確立されたまち

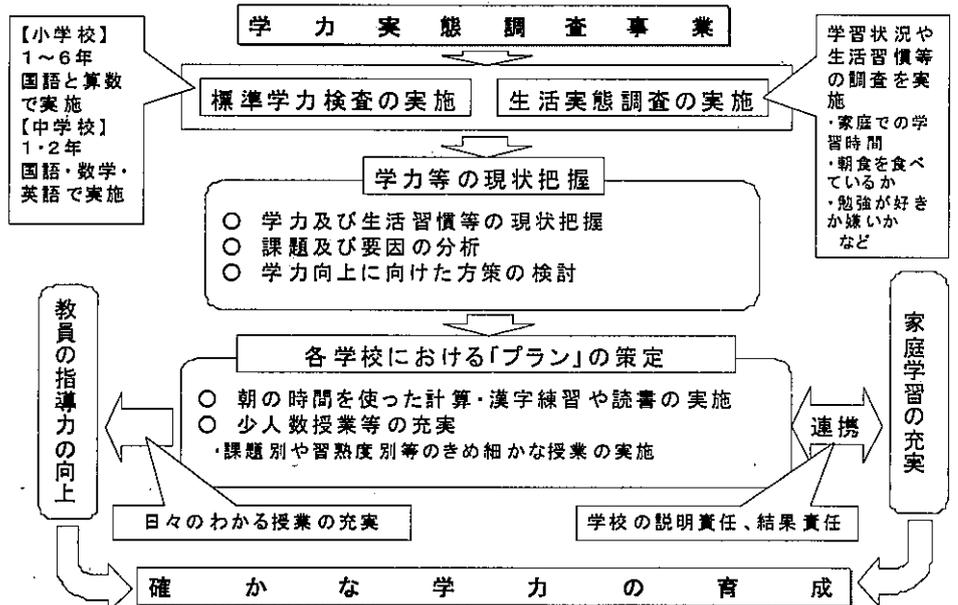
市民一人ひとりがかげがえのない人間として尊重され、輝きを持ちながら暮らしていける地域社会をつくるために、久留米市人権教育・啓発基本指針に基づき、久留米市人権啓発推進協議会など各種団体と連携し、差別をなくす意志と実践力を身に付けた豊かな人権感覚を持った市民を育成する教育・啓発活動を進める。

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
人権教育・啓発推進事業 【重点事業 35】	人権・同和教育課	全中学校区毎に「人権のまちづくり推進協議会」を設置し、これを中心とした地域主体の人権教育・啓発を推し進め、差別をなくす意志と実践力を身につけた豊かな人権感覚を持った市民の育成を図る。	7,110
社会人権・同和教育事業	人権・同和教育課	社会人権・同和教育研修等による団体等の育成及び進路保障を図るための所要の事業を実施するなど社会人権・同和教育を推進し、差別のない地域社会の実現をめざす。	14,185
小・中学校人権・同和教育事業	人権・同和教育課	部落差別をはじめとする様々な差別の現実に学び教職員の人権についての認識を深めるとともに、その研究成果を広く啓発・普及することによって、人権・同和教育の振興・充実に資する。 「学習理解力」「確かな人権認識」「豊かな感性」を併せ持った「学力」を培う学習活動の研究と実践を推進する。	3,000
学校人権・同和教育事業	人権・同和教育課	差別をなくす意志と実践力を持った児童生徒を育成し、社会に残る差別意識を解消するため、久留米市人権・同和教育研究協議会の育成、質問教室の実施、就園・就学・進学奨励金等の給付を行うなど、基本的人権を尊重する意識を醸成する教育活動を推進する。	25,457
社会人権・同和研修事業	生涯学習推進課	同和問題や男女共同参画に関する問題をはじめとする様々な人権問題に関して「なるほど人権セミナー」等の啓発事業を実施するほか、人権・同和教育を推進するリーダーの養成、啓発資料の作成、校区コミュニティセンター等における人権学習の振興を図る。	2,342

III 教育施策の重点事業

- | | |
|----------|----------------------------|
| 重点事業1 | 小・中学校学力・実態調査事業 |
| 重点事業2 | 小学校くるめ学力アップ推進事業 |
| 重点事業3 | 中学校くるめ学力アップ推進事業 |
| 重点事業4 | 小・中学校特別支援教育支援員活用事業 |
| 重点事業5 | 「くるめ学」子どもサミット事業 |
| 重点事業6 | 教育ICT活用事業 |
| 重点事業7 | 外国語指導助手活用事業 |
| 重点事業8 | 小学校英語教育充実事業 |
| 重点事業9 | 中学校英語教育充実事業 |
| 重点事業10 | 教職員研修事業 |
| 重点事業11-1 | 小・特別支援学校・高校心の教育推進事業 |
| 重点事業11-2 | 中学校心の教育推進事業 |
| 重点事業12 | スクールソーシャルワーカー活用事業 |
| 重点事業13 | 小学校不登校対応総合推進事業 |
| 重点事業14 | 中学校不登校対応総合推進事業 |
| 重点事業15 | 不登校児童生徒対策事業 |
| 重点事業16 | 不登校児童生徒訪問指導事業 |
| 重点事業17 | 生徒指導充実事業 |
| 重点事業18 | 小・中学校コミュニティ・スクール（久留米版）推進事業 |
| 重点事業19 | 学校ICT環境再整備事業 |
| 重点事業20 | 食育プログラム研究推進事業 |
| 重点事業21 | 食育啓発・促進事業 |
| 重点事業22 | 医療的ケア対応事業 |
| 重点事業23 | 中学校美術教育振興事業 |
| 重点事業24 | 発達障害早期総合支援事業 |
| 重点事業25 | 学校施設の整備充実 |
| 重点事業26 | 学校施設の長寿命化事業 |
| 重点事業27 | 地域生涯学習振興事業 |
| 重点事業28 | 体験活動推進事業 |
| 重点事業29 | 歴史博物館整備検討事業 |
| 重点事業30 | 筑後国府跡歴史公園整備事業 |
| 重点事業31 | 歴史ルートづくり事業 |
| 重点事業32 | MICE誘致推進事業 |
| 重点事業33 | 子どもの読書環境整備事業 |
| 重点事業34 | 図書館整備事業 |
| 重点事業35 | 人権教育・啓発推進事業 |

重点事業 1

事業名	小・中学校学力・生活実態調査事業			担当課	学校教育課		
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H28 決算	H29 予算	H30 予算		
			10,494 千円	11,040 千円	11,014 千円		
事業目的	小・中学校において、標準学力検査を実施することにより、児童生徒の学力実態を把握し、それに基づく指導方法の工夫改善を行うことで、教職員の指導力の向上を図るとともに児童生徒の学力の向上を目指す。						
事業内容	<p>○ 調査対象学年及び教科等 小学校 (H30.12.18 予定) 第1～6 学年 国語・算数 中学校 (H30.04.13 実施) 第1 学年 国・数 第2 学年 国・数・英</p> <p>○ 調査結果の活用 ・教育施策の改善 ・各学校の学校プランの見直し及び授業改善 ・保護者等への基本的な生活習慣・学習習慣確立のための協力依頼</p> 						
							
事業目標 成果指標	市学力・生活実態調査における 小6と中2の① 標準学力検査の 平均正答率 ② 生活実態調査 「授業がよく分 かる」の肯定的 回答の割合がそ れぞれ全国平均 以上	教科 区分	H28 実績		H29 実績		H30 目標値
			市	全国	市	全国	
①	小6 国	国	71.1	71.5	71.2	71.5	それぞれ全国平均以上
		数	66.9	67.1	67.8	67.1	
	中2 国	国	54.3	55.2	60.8	62.7	
		数	50.3	53.1	53.6	56.1	
	英	英	62.2	68.1	62.8	68.2	
		英	62.2	68.1	62.8	68.2	
②	小6	89.6	83.9	89.7	83.9		
	中2	80.5	67.5	81.4	67.5		

重点事業2

事業名	小学校くるめ学力アップ推進事業			担当課	学校教育課		
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H28 決算	H29 予算	H30 予算		
			36,778 千円	60,601 千円	54,650 千円		
事業目的	小学校3・4年生及び5年生児童の確かな学力の育成を図るとともに、小学校児童の学習内容及び学習習慣の定着を図る。						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校3・4年生において学校毎の課題や状況を踏まえ、規模などに応じて非常勤講師を配置し、習熟度別や課題別などの多様な学習形態による少人数授業を行い、一人ひとりの児童へのきめ細かな対応を図る。 ○ 小学校5年生において学校毎の課題や状況を踏まえ、学級規模などに応じて非常勤講師を配置し、学習規律の確立、授業改善、補充学習にかかる支援を行う。 ○ 全小学校に対して学生、地域ボランティアを派遣し、基礎的・基本的な学習内容の定着と学習習慣の定着を図る。 						
	<div style="text-align: center;"> <p>小学校くるめ学力アップ推進事業</p> </div>						
事業目標 成果指標	市学力・生活実態調査における3、4、5年生の標準学力検査の平均正答率が全国平均以上	教科区分	H28 実績		H29 実績		H30 目標値 それぞれ全国平均以上
			市	全国	市	全国	
		小3国	62.3	66.0	63.6	66.0	
		算	74.0	76.6	75.0	76.6	
		小4国	69.2	70.5	69.8	70.5	
		算	67.3	68.6	68.4	68.6	
小5国	65.5	67.0	67.7	67.0			
算	66.8	68.6	70.2	68.6			

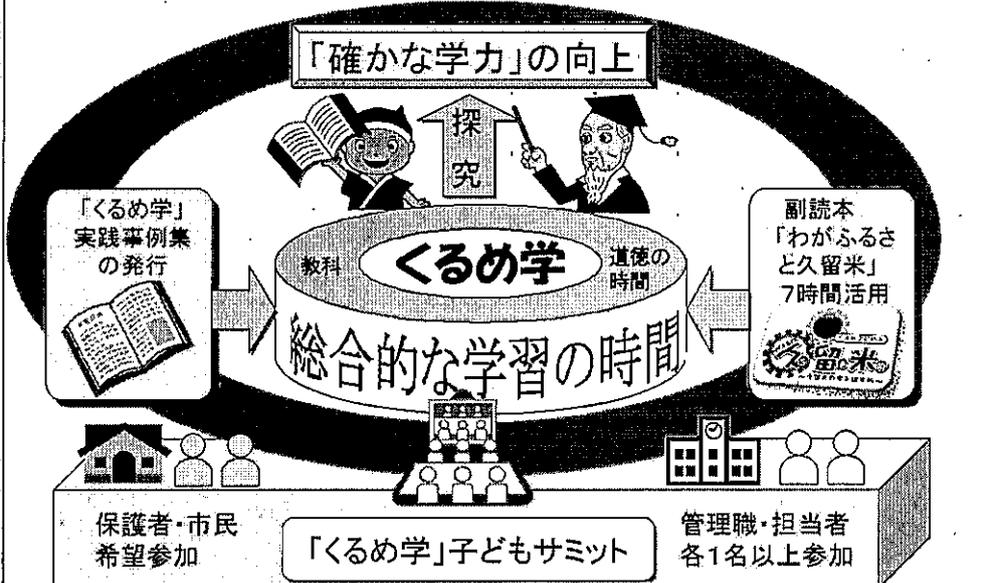
重点事業3

事業名	中学校くるめ学力アップ推進事業			担当課	学校教育課			
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H28 決算	H29 予算	H30 予算			
			27,629 千円	33,832 千円	32,967 千円			
事業目的	中学校生徒の学力向上を目指し、基礎的・基本的な学習内容の確実な習得と学習習慣の定着を図る。							
事業内容	○ 市立中学校に対し学生、地域ボランティアを派遣し、基礎的・基本的な学習内容の定着と学習習慣の定着を図る。NPO 法人に委託した無料塾を開設し、放課後等に学習支援を行う。							
	○ 教務担当主幹教諭を学力向上コーディネーターに専任化し、後補充として非常勤講師を配置する。							
事業目標 成果指標	①市(中2)と全国(中3)の学力調査の平均正答率が全国平均以上	①	教科区分	H28 実績		H29 実績		H30 目標値
				市	全国	市	全国	
	②市(中2)と全国(中3)の学習状況調査の「家庭での学習時間が1時間以上の生徒の割合」が全国平均以上	②	中2国	54.3	55.2	60.8	62.7	それぞれ全国平均以上
数			50.3	53.1	53.6	56.1		
		英	62.2	68.1	62.8	68.2		
		中3国A	72.7	75.6	75	77.4		
		国B	63.8	66.5	70	72.2		
		数A	57.8	62.2	61	64.6		
		数B	40.0	44.1	45	48.1		
		中2	46.7	58.0	49.3	58.0		
		中3	64.2	67.9	65.3	69.6		

重点事業 4

<p>事業名</p>	<p>小中学校特別支援教育支援員活用事業</p>		<p>担当課</p>	<p>学校教育課</p>
<p>事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)</p>	<p>継続</p>	<p>事業費</p>	<p>H28 決算 100,293 千円</p>	<p>H29 予算 101,460 千円</p>
<p>H30 予算 100,874 千円</p>	<p>事業目的 通常学級及び特別支援学級で教育上特別の支援を必要とする児童生徒が在籍する学校を対象に、特別支援教育支援員を配置することによって、学習活動や移動介助等の支援を行い、よりよい学校生活の実現に資する。</p>			
<p>事業内容</p>	<p>(1) 特別支援教育支援員の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業中に教室を離れる児童生徒の居場所を確認し、安全を確保する。 ○ 肢体不自由のある児童生徒の移動の際に補助をする。 ○ 情緒不安定となった児童生徒に関わり、感情の高ぶりを落ち着かせる。 <p>(2) 特別支援教育支援員研修会の実施 特別支援教育支援員の役割や障害種別の特性理解について、講話等の研修を行い、個別の支援の充実</p>  <div data-bbox="430 1064 1348 1758"> <p>【小・中学校】 ○ 通常の学級、特別支援学級における支援 ○ 支援員研修会</p> <p>小・中学校特別支援教育支援員活用事業</p> <p>特別支援教育支援員</p> <p>対象 障害のある児童生徒 特別な教育的支援を要する児童生徒</p> <p>学校生活への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業中に教室を離れる児童生徒への対応 ○ 情緒不安定になった児童生徒への対応 ○ 障害のある児童生徒への生活介助 <p>連携 学級担任、コーディネーター</p> <p>連携 スクールカウンセラー</p> <p>支援計画の作成への指導助言</p> <p>支援計画の作成、評価</p> <p>学校生活への適応</p> <p>◎ 学校長の判断による教育委員会への推薦 ・介護士資格 ・児童心理課程の履修 ・医療機関での勤務経験 ・特別支援教育への識見等のある者</p> </div>			
<p>事業目標 成果指標</p>	<p>特別支援教育支援員研修会を受講した支援員の研修内容への満足度</p>	<p>H28 実績 未実施</p>	<p>H29 実績 94.1%</p>	<p>H30 目標値 前年度以上</p>

重点事業5

事業名	「くるめ学」子どもサミット事業		担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H28 決算 466 千円	H29 予算 602 千円
事業目的	各学校の子ども同士が「くるめ学」の学習成果を発表し合う機会について、教職員のみならず保護者や市民に対して公開し、「くるめ学」の趣旨や意義を周知するとともに、各学校の「くるめ学」の一層の充実を目指す。			
事業内容	<p>○ 「くるめ学」の副読本「わがふるさと久留米」を活用し、総合的な学習の時間に位置付けた「くるめ学」の実践事例を収集し、事例集を発行する。</p> <p>○ 「くるめ学」子どもサミットを開催し、小・中・特別支援学校で実施された「くるめ学」の学習成果の発表を行う。参加者は、発表校の児童生徒、全ての小・中・特別支援学校の担当者、参加を希望する保護者、市民とする。</p> <p>○ 「くるめ学」子どもサミットの会場使用料、会場までのバス借り上げ代を負担する。</p> 			
事業目標 成果指標	「くるめ学」子どもサミットに参加した児童生徒の地域への興味・関心度	H28 実績 97%	H29 実績 99%	H30 目標値 98%以上

重点事業6

事業名	教育ICT活用事業		担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	新規	事業費	H28 決算 —	H29 予算 —
			H30 予算 8,838 千円	
事業目的	ICT機器を活用した教育活動を推進するため、教育ICT活用推進校にタブレットパソコンを配備(4校・180台)して、効果的な授業づくりの調査研究と授業実践に取り組む。			
事業内容	<p>○ 教育ICT推進校4校(小学校2校・中学校2校)に、授業活用のためのICT機器(タブレット型パソコン・充電式保管庫)を配備する。</p> <p>○ 教育ICT推進校において、タブレットを活用した効果的な授業づくりを調査研究し、活用事例集の作成や公開授業を行う。</p> <p>○ 教育ICT推進教員と市教育委員会の指導主事がICT活用の先進地視察を行い、授業における効果的な活用やICT機器の運用等についての情報収集を行う。</p> <p>○ 教育ICT推進校の教員等を対象にした外部講師による研修会を行い、教員のICT授業活用力を向上させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>久留米市立小・中学校教員のICT授業活用力・指導力の向上・ICT環境整備</p> </div> <p>～H30.9～H32.8「教育ICT活用推進校」(小学校2校・中学校2校)による先行実践～</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>(環境整備)</p> <p>通信可能なタブレット型パソコン (児童用40台・教員用学年1台)</p> <p>充電式タブレット保管庫</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>(取組)</p> <p>①授業における効果的なICT活用についての実践検証</p> <p>②授業公開・実践事例集の配布</p> <p>③外部指導者によるICT活用研修の受講</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>(教育ICTプロジェクト)</p> <p>・推進校のICT推進教員、学校教育課指導主事による先進地視察</p> <p>・各校の推進委員による実践交流、情報交換、活用・推進の協議等</p> </div>			
事業目標 成果指標	タブレットパソコンを活用した効果的な学習手法による公開授業の開催	H28 実績 —	H29 実績 —	H30 目標値 1回以上の公開授業の開催

重点事業7

事業名	外国語指導助手活用事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	拡充	事業費	H28 決算	H29 予算	H30 予算
			54,432 千円	54,433 千円	59,098 千円
事業目的	外国語指導助手（ALT）を派遣することで、小学校では積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、中学校では、コミュニケーションを図ることができる資質・能力を育成する。				
事業内容	<p>○ 小学校で平成32年度、中学校で平成33年度から本格実施となる新学習指導要領では、小学校3～4年生で「外国語活動」を年35時間、5～6年生で「外国語科」を年70時間実施する。</p> <p>○ 平成30～31年度は、本格実施が円滑にスタートするための移行期間であり、小学校3校を推進校として、ALTを重点的に配置しながら、実践的な授業・教材研究を行う。</p> <p>○ 中学校15校（県ALT配置の2校を除く）では、年間授業時数140時間に対し、25時間以上派遣する。</p> <p>○ 推進校の小学校には、3～4年生に年間10時間、5～6年生に年間28時間以上派遣する。その他の小学校には3～4年生に年間5時間、5～6年生に年間21時間以上派遣する。</p> <div style="text-align: center;"> <p>小・中学校外国語指導助手活用事業</p> <p>外国語指導助手（ALT）の派遣</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;"> <p>中学校の外国語（英語）担当教員との外国語科（英語）の授業、小学校中高学年の担任との外国語活動及び外国語科の授業、校内研等の講師、児童生徒への補充指導</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;"> <p>【小学校の外国語・外国語教育】 ○ 3・4年の各学級で 【通常校】年間授業時数18hにたいして5h派遣 【推進校】年間授業時数35hに対して10h派遣○ 5・6年の各学級で 【通常校】年間授業時数53hに対して21h派遣</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>小学校 中学校 特別支援学校</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>【中学校の外国語科】 ○ 1～3年の各学級で、外国語科年間140hに対して25h派遣</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">⇄ 連携</p> </div>				
事業目標 成果指標	市学力・生活実態調査の英語（中2）の平均正答率が全国平均以上	H28 実績	H29 実績	H30 目標値	
		市 : 62.2 全国 : 68.1	市 : 62.8 全国 : 68.2	全国平均以上	

重点事業 8

事業名	小学校英語教育充実事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	新規	事業費	H28 決算 -	H29 予算 -	H30 予算 300 千円
事業目的	市立小学校において、新学習指導要領が掲げる外国語（英語）教育の充実を図るため、外国語教育推進校（竹野・京町・西牟田小学校）において、先進地の実施内容も踏まえた実践的な調査研究を行い、その成果を広く市内の学校に還元する。				
事業内容	<p>○ 児童のコミュニケーションに関する資質・能力を育成する授業づくりや、授業時数の効果的な運用に関しての実践的な研究を行う。</p> <p>○ 各推進校の状況に応じて、児童がコミュニケーション活動や英語表現に慣れ親しむための教材等の実践事例の収集や、高学年担任等の負担軽減を目的とする校内職員体制の取組等について、実践的な研究を行う。</p> <p>○ 久留米市内の小・中学校教員を対象にした授業公開を実施する。</p> <p>○ 外国語教育の先進地視察や研究発表会に参加して情報収集を行い、調査研究の参考とする。</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 小学校英語教育充実事業 </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%;"> <p>外国語教育推進校による実践的な調査研究と全ての小学校への成果の還元</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な授業づくりや授業時数の運用に関する実践研究 ・実践事例を教材フォルダへ保存し、他の教員が自由に活用できるようにする。 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 20%;"> <p>久留米市内の小・中学校教員を対象にした授業公開の実施</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 20%;"> <p>外国語教育の先進地の視察や研究発表会への参加</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 新学習指導要領の円滑な実施・外国語（英語）教育の充実と発展 </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> グローバル化が進む国際社会の中で生き抜くために必要な資質・能力の育成 </div>				
事業目標 成果指標	①各推進校における授業公開の実施 ②各推進校における学習指導案を含む研究成果物の作成	H28 実績 -	H29 実績 -	H30 目標値 ①各校 1 回以上 ②各校 3 点以上	

重点事業9

事業名	中学校英語教育充実事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	拡充	事業費	H28 決算	H29 予算	H30 予算
			8,911 千円	10,910 千円	12,039 千円
事業目的	グローバル化や国際化の進展により、異文化理解や異文化コミュニケーションがますます重要になっていることを踏まえ、英語運用能力の向上及び英語学習に向けての意欲・関心の向上を目指す。				
事業内容	<p>○ くるめ英語留学体験事業 中学生を対象に、英語教育の専門的な講師の指導のもと、3日間のプレゼンテーションや質疑応答等を通して、実践的な英語力を育成する。</p> <p>○ 中学生イングリッシュ・キャンプ事業 ALTと2泊3日のオールイングリッシュによる交流活動を通して、英語の学習意欲を高め、コミュニケーション能力を育成する。</p> <p>○ 中学校3年生全員の英語検定の受検 検定料を全額負担し、生徒が無料で受検できるようにすることで、英語学習の目標設定や進路獲得、将来の目標に向けた契機とする。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A[中学校英語教育充実事業] --> B[イングリッシュ・キャンプ] A --> C[英語留学体験] A --> D[英語検定] B --> E["「聞くこと」「話すこと〔やりとり〕」「話すこと〔発表〕」「読むこと」「書くこと」の五つの領域における言語活動の実践"] C --> E D --> E E --> F[英語を通したコミュニケーションを図る資質・能力の育成] </pre> </div>				
事業目標 成果指標	中学校3年生までの英検3級の取得率が全国平均及び市前年度を超える	H28 実績	H29 実績	H30 目標値	
		市 20.8% 全国 18.1%	市 32.3% 全国 22%	前年度を超える	

重点事業 10

事業名	教職員研修事業		担当課	教育センター	
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H28 決算	H29 予算	H30 予算
			13,915 千円	13,663 千円	13,127 千円
事業目的	教職員のライフステージや喫緊の教育課題（教育改革プランの重点課題）に対応した研修計画を策定し、久留米市ならではの充実した研修を実施し、教職員の実践的指導力の向上を図る。				
事業内容	<p>1 基本研修</p> <p>経験年数や職務に応じた資質能力の向上を図る研修（受講対象者を特定した悉皆研修）</p> <p>(1) 経年研修（14 講座）</p> <p>教育公務員特例法に基づく、初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修のほか、経験年数に応じて、教職員に必要な知識や技能（実践的指導力）、態度を養うための研修を行う。</p> <p>〈改善点・工夫点〉講義では、国や県の教育の動向に触れるとともに、受講者がより主体的に研修に参加できるように、<u>演習や協議等、内容を吟味し、適宜取り入れる。</u></p> <p>(2) 職務研修（9 講座）</p> <p>新たに任命された校長、副校長、教頭、主幹教諭等の研修、及び新たに発令された主任主事の職務に関する専門的な研修を行い、学校経営能力や当該職務の遂行能力向上を目指す。</p> <p>〈改善点・工夫点〉職務の内容や役割を講義等でさらに明確に示すために、<u>関係各課との連携を密に行う。</u></p> <p>2 課題研修（16 講座）</p> <p>教育課題に基づき、各分掌業務を担当する教職員を対象として、職能に応じた専門的な知識・技能の習得と実践的指導力の向上を図る研修</p> <p>〈改善点・工夫点〉社会情勢、教育を取り巻く情勢、市の教育課題を考慮し、<u>内容の精選・重点化を図る。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長、副校長、教頭を対象とした管理職研修 ・学力向上、いじめ・不登校への対応、安全安心な学校生活の確保など、様々な教育課題の解決を目指した研修 <p>3 専門研修</p> <p>(1) 短期研修（15 講座）</p> <p>教科等の学習指導や生徒指導、人権・同和教育、学校運営等、教職員のライフステージに応じて専門性を高める研修（希望受講）</p> <p>(2) 断続研修（研修員 11 名）</p> <p>学力の保障と向上に向けた教育力の育成を目指し、1 年間を通じて断続的に授業力を高める研修を行い、各教科・領域における専門的な知識と指導力を持った学び続ける人材を育成する研修</p>				
事業目標 成果指標	研修アンケートで「役にたった」（大変満足・満足）と回答した者の割合 90% 以上	H28 実績	H29 実績	H30 目標値	
		99.3%	99.2%	95.0% 以上	

重点事業 11-1

事業名	小・特別支援学校・高校心の教育推進事業（スクールカウンセラー活用事業）		担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 （新規・補充・継続）	継続	事業費	H28 決算	H29 予算
			17,279 千円	20,854 千円
			H30 予算	21,260 千円
事業目的	心理に関する専門的な知識経験を有するスクールカウンセラーを小学校・特別支援学校・高校に配置する。そのうえで、発達障害や不登校など、児童生徒や保護者の困りごとに対して、解消に向けた支援、不安の解消、関係機関との連携などを図る。			
事業内容	<p>○ スクールカウンセラーを市立の全小学校、特別支援学校、高校に配置し、児童生徒、保護者及び教職員等へのカウンセリングを行う。</p> <p>○ スクールカウンセラー等の要請に基づき、小児リエゾン・ドクターが児童生徒、保護者及び教職員へのカウンセリングを行う。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A["福岡県臨床心理士会より推薦を受けた スクールカウンセラー、又は市が任用する スクールカウンセラー"] --> B["月に1、2回程度（1日4時間） 学校へ派遣"] B --> C["市立の全小学校、特別支援学校、高校に配置"] C --> D["月に2回派遣 西国分小、金丸小、東国分小、御井小、南小、合川小、 特別支援学校、南筑高校 月に1回派遣 上記以外の小学校、久留米商業高校"] D -.-> E["【小学校】小児リエゾン・ドクター 児童精神科医師1名が対応"] F["SCの要請に基づき小学校へ派遣"] -.-> A </pre> </div>			
事業目標 成果指標	全国学力・学習状況調査において、「学校に行くのが楽しい」と答える小学校の児童の割合が全国平均を超える	H28 実績	H29 実績	H30 目標値
		市 82.9% 全国 86.3%	市 84.2% 全国 86.3%	全国平均 を超える

重点事業 11-2

事業名	中学校心の教育推進事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H28 決算	H29 予算	H30 予算
			9,850 千円	11,016 千円	11,016 千円
事業目的	<p>様々な悩みや困りごとを持つ生徒が相談できる環境を整備し、生徒のストレスを和らげるとともに、早期段階での対応法を見出すなど、子どもたちの健全な心の育成を図る。また、教師や保護者からの教育相談に対応して、専門的な立場からの助言を行う。</p>				
事業内容	<p>○臨床心理士の資格を有し、福岡県臨床心理士会より推薦を受けた者をスクール・カウンセラーとして配置する。</p> <p>○中学校のスクール・カウンセラーは、毎週1回（曜日は学校と協議して決定する。）来校し、生徒・保護者・教職員へのカウンセリングや教育相談及び生徒指導部会等の会議に参加する。</p> <p>○県からの配置時間（週8時間4校、週4時間13校）に、本事業による配置時間（週4時間13校）を合わせて、全ての中学校に週8時間の配置を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>市立中学校におけるスクール・カウンセラーの配置状況 (一週当たり8時間×35週)</p> <p>① 市予算と県予算による配置校13校 1校当たり(市4h+県4h)×35週 江南中・櫛原中・牟田山中・高牟礼中・明星中・青陵中・筑邦西中 荒木中・宮ノ陣中・田主丸中・屏水中・北野中・三潴中</p> <p>② 県予算による配置校4校 1校当たり(県8h×35週) 城南中・良山中・諏訪中・城島中</p> <p>※ 県予算によるスーパーバイザー配置校1校 (県4h×3回×35週) 諏訪中に配置</p> </div>				
事業目標 成果指標	全国学力・学習状況調査において、「学校に行くのが楽しい」と答える中学校の生徒の割合が全国平均を超える	H28 実績	H29 実績	H30 目標値	
		市 79.1% 全国 81.4%	市 79.9% 全国 80.9%	全国平均を超える	

重点事業12

事業名	スクールソーシャルワーカー活用事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H28 決算 10,012 千円	H29 予算 14,808 千円	H30 予算 14,891 千円
事業目的	福祉分野の諸制度と福祉サービスの手続等について専門知識を有するスクールソーシャルワーカーを市教育委員会に配置し、各学校に派遣する。そのうえで、問題を抱えた児童生徒を取り巻く環境へ働きかけ、課題解決への対応を図る。				
事業内容	<p>○ 環境への働きかけの支援が必要と学校が判断し、支援要請があったケースについて、スクールソーシャルワーカーを派遣し、学校と協働して子どもたちの抱える状況（家庭環境、不登校、発達上の課題等）の改善を図る。</p> <p>○ 問題を抱える児童生徒について、福祉的視点からの情報収集と状況把握、課題分析（アセスメント）、支援計画の作成、支援方針や内容についてのケース会議の開催、学校・家庭・関係機関等による連携ネットワークの構築を主に行う。</p> <p>スクールソーシャルワーカーの役割</p>				
事業目標 成果指標	①支援件数の前年比増 ②関係機関とのケース会議の前年比増	H28 実績 ①115 件 (▲3 件) ②257 件 (+27 件)	H29 実績 ①122 件 (+7 件) ②262 件 (+5 件)	H30 目標値 前年比増	

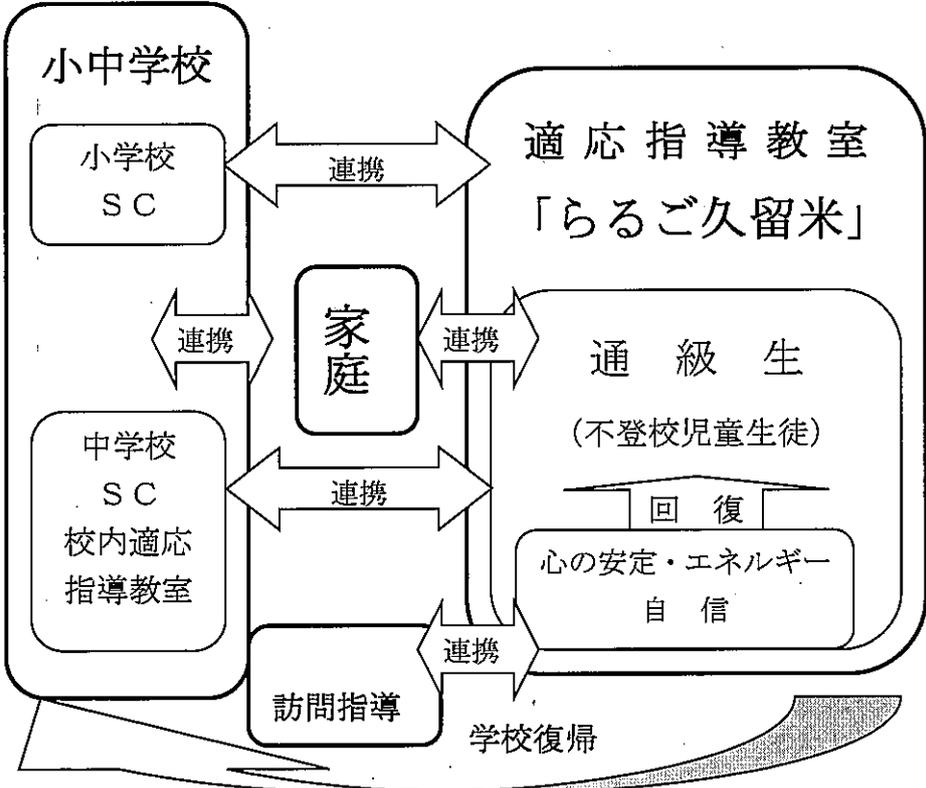
重点事業 13

<p>事業名</p>	<p>小学校不登校対応総合推進事業</p>			<p>担当課</p>	<p>学校教育課</p>
<p>事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)</p>	<p>継続</p>	<p>事業費</p>	<p>H28 決算 11,193 千円</p>	<p>H29 予算 14,026 千円</p>	<p>H30 予算 14,026 千円</p>
<p>事業目的</p>	<p>小学校において、生徒指導サポーターと学校が連携を図り、不登校や不登校傾向、生徒指導上の課題のある児童に対する早期からの支援を充実させることで、それらの課題の解消を図る。</p>				
<p>事業内容</p>	<p>○ 不登校や不登校傾向にある児童の課題の解消、問題行動の解決を図るため、小学校に生徒指導サポーターを配置（1日当たり4時間、年間200日を限度）する。</p> <p>○ 生徒指導サポーターの主な役割は、次のとおりとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 不登校や不登校傾向の児童の保護者への電話連絡や家庭訪問 ② 引率登校した児童の学習支援 ③ 学級担任や生徒指導担当教員と連携に基づく児童の登校支援 ④ 関係機関と連携を図った保護者や児童等への支援 <p>○ 平成30年度は、19校で本事業を実施する。</p>				
<p>事業目標 成果指標</p>	<p>児童1,000人当たりの不登校児童数が全国平均を下回る</p>	<p>H28 実績 市 2.0人 全国 4.7人</p>	<p>H29 実績 市 2.3人 全国 -</p>	<p>H30 目標値 全国平均以下</p>	

重点事業 14

事業名	中学校不登校対応総合推進事業			担当課	学校教育課													
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H28 決算 30,550 千円	H29 予算 33,551 千円	H30 予算 33,404 千円													
事業目的	<p>中学校の校内適応指導教室の活動を充実したものとするために、校内適応指導教室助手を配置することによって、不登校及び不登校傾向にある生徒に校内の居場所を作り、生徒指導、進路指導及び学習支援を行いながら、教室へ復帰するための支援を行う。</p>																	
事業内容	<p>○ 全中学校に、不登校及び不登校傾向にある生徒に校内での居場所をつくり、教室への復帰を支援する校内適応指導教室を全ての中学校に設置し、助手を配置する。</p> <p>○ 適応指導教室では、主に次の役割を担当する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 相談活動を通して、生徒のストレス軽減や不登校の原因を探り、学級復帰に向けた支援を行う。 ② 学習支援を行い、生徒の進路獲得を目指す。 ③ 保護者への助言や支援を行う。 ④ 生徒、保護者と学校との連携体制の支援に当たる。 <p>○ 基本的に週 25 時間の勤務体制で、1～2名の校内適応指導教室助手を配置する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>校内適応指導教室</p> <p>不登校生徒に校内での居場所をつくり、学級復帰への支援を行う。</p>  <p>学校復帰 ↑</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>校内適応指導教室助手</p> <p>学習支援や教育相談活動ができる者として、校長の推薦により教育委員会が認める者</p>  <p>↓ 学級復帰</p>  </div> </div>																	
事業目標 成果指標	生徒 1,000 人当たりの不登校生徒数が全国平均を下回る	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">H28 実績</th> <th colspan="2">H29 実績</th> <th>H30 目標値</th> </tr> <tr> <td>市</td> <td>29.2 人</td> <td>市</td> <td>28.8 人</td> <td rowspan="2">全国平均以下</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>31.4 人</td> <td>全国</td> <td>—</td> </tr> </table>	H28 実績		H29 実績		H30 目標値	市	29.2 人	市	28.8 人	全国平均以下	全国	31.4 人	全国	—		
H28 実績		H29 実績		H30 目標値														
市	29.2 人	市	28.8 人	全国平均以下														
全国	31.4 人	全国	—															

重点事業 15

事業名	不登校児童生徒対策事業			担当課	青少年育成課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H28 決算 6,378 千円	H29 予算 6,993 千円	H30 予算 6,819 千円
事業目的	<p>心理的・情緒的理由により学校に行きたくても行けない児童生徒に対し、適応指導教室「らるご久留米」での様々な体験活動や学習指導、また、臨床心理士によるカウンセリングを通して、「心の安定」と「心のエネルギーの回復」、さらには自信の回復に努めながら学校復帰を支援している。</p>				
事業内容	<p>成果指標は、H27:55.5%、H28:57.4%、H29:83.3%となっている。そこで、本年度も成果指標を70%以上とするために、日常の通級生との関わり・教育相談をより丁寧に行う。また、体験活動を多く取り入れて成功体験をさせるために、下見や準備に力を入れていく。さらに新しい体験活動を取り入れていく。</p> 				
事業目標 成果指標	通級率50%を超える通級生の割合 (H27は55.5%)	H28 実績 57.4%	H29 実績 83.3%	H30 目標値 70%以上	

重点事業 16

事業名	不登校児童生徒訪問指導事業			担当課	学校教育課	
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H28 決算	H29 予算	H30 予算	
			1,379 千円	1,704 千円	1,740 千円	
事業目的	家庭等にひきこもりがちな不登校の児童生徒に対して訪問指導員を派遣し、信頼関係を築きながら、児童生徒や保護者の悩みや不安の解消に努め、適応指導教室への通級や学校への復帰を支援する。					
事業内容	<p>○ 引きこもりがちな不登校の児童生徒の自宅等に訪問指導員2名が訪問し、児童生徒や保護者の悩みや不安の解消を図ることによって、適応指導教室への通級や学校への復帰を支援する。</p> <p>○ 学校から依頼を受けて、週1回2時間程度訪問する。保護者からの要望に応じて学校や他の場所で訪問指導を行うことも可能である。</p> <p>○ 本年度からは、訪問指導員を2名増員して6名体制とし、所管を青少年育成課から学校教育課に移管することによって、学校やスクールカウンセラー等との連携・情報共有を強化する。</p>					
事業目標 成果指標	児童生徒 1,000 人当たり の不登校生徒数が全国平均を下回る	H28 実績		H29 実績		H30 目標値
		市 10.7 人 全国 13.6 人	市 10.6 人 全国 -	全国平均以下		

重点事業 17

事業名	生徒指導充実事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H28 決算 13,089 千円	H29 予算 16,269 千円	H30 予算 15,166 千円
事業目的	専任生徒指導教員が配置されていない中学校に対して、非常勤講師を配置し、生徒指導担当教員の授業を行うことによって、当該教員が専任で生徒指導の諸問題への対応と解決を図る環境を整備する。				
事業内容	<p>○ 県から専任生徒指導教員が配置されていない10中学校（城南、榊原、宮ノ陣、荒木、筑邦西、青陵、高牟礼、北野、城島、三潴）の生徒指導担当教員が、専任で以下に示すような様々な生徒指導上の諸問題に対応できるように、その後補充として非常勤講師を配置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 不登校や問題行動の未然防止と問題解消に向けた生徒に対する対応 ② 校内適応指導教室助手との連絡・調整 ③ 学校内におけるチーム体制の構築・支援 ④ 保護者に対する支援・相談 ⑤ 関係機関等との密接かつ良好な関係づくり <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">地域</p> <p>校区青少年育成協議会 主任児童委員 コミュニティセンター</p> <p>○地域との密接かつ良好な関係づくり</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">家庭</p> <p style="text-align: center;">🏠</p> <p>○保護者に対する支援、相談</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">関係機関</p> <p>他の中学校 児童相談所 警察署 家庭裁判所 青少年育成課</p> <p>○関係機関との密接かつ良好な関係づくり</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>密接かつ良好</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p style="text-align: center;">生徒への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日常の行動観察と指導 ○相談業務 ○生徒の実態把握(未然防止) ○問題行動生徒への直接指導、支援 ○不登校生徒対応 </div> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p>生徒指導担当教員</p> <p style="text-align: center;">学校</p> <p style="text-align: center;">🏫</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p style="text-align: center;">校内体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校内チーム体制の構築 ○教職員へのサポート ○教職員等への研修 等 </div> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>非常勤講師による 持ち授業時数の軽減</p> </div>				
事業目標 成果指標	生徒1,000人当たりの いじめの認知件数が 全国平均を上回る	H28 実績 市 29.6 件 全国 31.8 件	H29 実績 市 集計中 全国 集計中	H30 目標値 全国平均 以上	

重点事業 19

事業名	学校ICT環境再構築事業		担当課	教育センター	
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H28 決算 148,392 千円	H29 予算 75,287 千円	H30 予算 111,929 千円
事業目的	きめ細やかな学習指導・生徒指導への活用、優れたデジタルコンテンツ(学習教材・指導案)の共有化、データ保護、セキュリティの強化を図る。				
事業内容	<p>1 学校イントラネットの運用、維持管理 インターネットの技術を用いて構築された各学校・教育部を範囲としてデータ通信できる環境の安定的な運用を行い、活用を促進する。 (1) 学校における学習指導や家庭学習に役立つ教材等の共有 ア 学習指導案やICT教材等を保存し、学習指導に役立てる。 〈改善点・工夫点〉平成29年度に調査研究班で作成したICT教材について広報し、積極的な活用を図る。 イ 補充教材を保存し、補充学習や家庭学習に役立てる。 (2) 教職員研修教材の発信 教育センターにおける調査研究の成果物や研修教材、外部講師の講話資料等を保存し、校内研修での活用を促進する。 〈改善点・工夫点〉調査研究の成果物は、集合研修の講義の際に内容に触れたり紹介したりする。</p> <p>2 校務支援等システムの運用保守 児童生徒一人一人の情報(成績処理・日常所見等の教務関連事務、転出入・出欠管理等の学籍関連事務、指導要録、健康観察等の保健関係事務)をデータベース化し、学習指導や生徒指導に活用する。 (2) 主な事業効果 ア 学習指導面での効果 細やかな成績管理と総合的な評価による学級、学年、学校ごとの成績分析を適時行うことができ、学力の保障と向上を図る上での重要な環境が整えられる。 イ 生徒指導面での効果 学級担任だけでなく、担任以外の教師が、児童生徒のよさや日常の気づきについて、その情報を共有しシステム化することにより、児童生徒の小さな変化に対する早期発見・早期対策、いじめや不登校などの未然防止に対する支援性が高まる。</p> <p>3 学校サーバー一元化の構築、運用、保守 学校サーバを一元化することでデータの保護、セキュリティの強化を図る。</p>				
事業目標 成果指標	①学校イントラネット 共有化指導案数 270件以上 ②校務支援等システム 支援件数 1日平均 24件以下	H28 実績 ①指導案数 105件 ②該当なし	H29 実績 ①指導案数 193件 ②24.15件	H30 目標値 ①指導案数 270件以上 ②24件以下	

重点事業 20

事業名	食育プログラム研究推進事業		担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H28 決算	H29 予算
			686 千円	686 千円
			H30 予算	652 千円
事業目的	子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるための取組を推進している市内の小・中・特別支援学校等の栄養教諭等で構成する久留米市栄養教諭等研究会の研究活動に対し、助成を行う。			
事業内容	<p>○ 久留米市栄養教諭・学校栄養職員等の取組を生かし、充実発展させるために、本事業を通して食育プログラムの研究活動を推進する。</p> <p>○ 以下の取組を行い、児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるようにする。</p> <p>① 朝食摂取や栄養バランスのよい食事など食に関する指導の充実 ② 望ましい食習慣の形成を図る学校給食の充実 ③ 食に関する講演会の実施 ④ よりよい食生活を築く情報を掲載したチラシの作成・配布・啓発 ⑤ 食への関心を高める親子料理教室の開催 ⑥ 児童生徒の食に関する実態の調査、分析 ⑦ 栄養教諭等が配置されていない中学校への出前指導</p> <div style="text-align: center;"> </div>			
事業目標 成果指標	朝食を食べない児童生徒 (朝食欠食率)の割合が 前年度を下回る	H28 実績	H29 実績	H30 目標値
		小学校 1.5% 中学校 2.8%	小学校 1.6% 中学校 2.3%	H29 実績を 下回る

重点事業 2 1

事業名	食育啓発・促進事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H28 決算	H29 予算	H30 予算
			500 千円	500 千円	420 千円
事業目的	「早寝・早起き・朝ごはん」をスローガンに、学校・家庭・地域が連携し、子どもの食事や睡眠といった基本的な生活習慣の確立や生活リズムの向上を図る運動を展開する食育推進校のPTAに対して助成を行う。				
事業内容	<p>○ 各学校で、PTAを中心に展開している食育の取組をさらに充実発展させるため、次に掲げるような取組を実施し、朝食摂取率の向上に向けた啓発を促進する。</p> <p>① 食育推進校」ののぼりの設置</p> <p>② 児童生徒及び保護者への意識調査と分析結果の公表</p> <p>③ 生活リズムカードの実施</p> <p>④ 朝食内容の充実のための食育講演会の実施</p> <p>○ 平成30年度食育推進校（6校） 金島小、上津小、江上小、草野小、北野中、牟田山中</p> <div style="text-align: center;"> </div>				
事業目標 成果指標	食育推進校（平均の割合）における朝食摂取率の向上	H28 実績	H29 実績	H30 目標値	
		推進校5校の 平均値 H28 93.2%	推進校5校の 平均値 H29 93.6%	推進校6校にお ける朝食摂取率 の向上	

重点事業22

事業名	医療的ケア対応事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	拡充	事業費	H28 決算	H29 予算	H30 予算
			19,479 千円	27,052 千円	30,820 千円
事業目的	<p>久留米特別支援学校に在籍する医療的ケアを必要とする児童生徒に対応するために、看護師を配置し、医療機関と連携した吸引・経管栄養・導尿等を実施することによって、子どもの状況に的確に対応できる安全な教育環境の整備を図る。</p>				
事業内容	<p>○ 久留米特別支援学校に在籍し、医療的ケア（吸引・経管栄養・導尿）を必要とする児童生徒を対象とする。（平成30年度は18人）</p> <p>○ 業務委託により、事業所から看護師を派遣する。（平成30年度は、8時間配置1人、6時間配置7人、2時間配置4人の計12人を配置する）</p> <div style="text-align: center;"> <p>医療的ケア対応事業</p> <p>指導医の配置 看護師派遣</p> <p>指導医の委嘱 4H×3回 医療的ケアの 技術、環境への 助言</p> <p>事業所による 看護師派遣 1日8H1名 6H7人 2H4人 年間205日 程度</p> <p>助言 ケア</p> <p>対象</p> <p>特別支援学校に在籍する医療的ケア の必要がある児童生徒</p> <p>学校生活への支援</p> <p>学級担任 連携 連携 保護者</p> <p>学習活動等の連絡 児童生徒の体調等の状況</p> <p>学校生活への適応</p> </div>				
事業目標 成果指標	医療的ケアを必要とする児童生徒のニーズに対応できる看護師を配置する	H28 実績	H29 実績	H30 目標値	
		必要数9人 配置数9人	必要数11人 配置数11人	必要数12人 配置数12人	

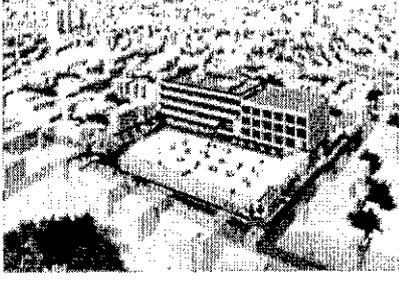
重点事業23

<p>事業名</p>	<p>中学校美術教育振興事業</p>			<p>担当課</p>	<p>学校教育課</p>
<p>事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)</p>	<p>継続</p>	<p>事業費</p>	<p>H28 決算 2,314 千円</p>	<p>H29 予算 3,550 千円</p>	<p>H30 予算 3,088 千円</p>
<p>事業目的</p>	<p>市立中学校の生徒における美術への興味・関心を高め、豊かな心と郷土を愛する心を育む。</p>				
<p>事業内容</p>	<p>○ 市立中学校の第1学年の全生徒が久留米市美術館等で行われる企画展及び常設展を鑑賞するためのバスの借り上げを行う。 事業実施にあたっては、生徒のアンケートや感想等を学校だよりなどで紹介し、効果の波及に努める。</p> <div style="text-align: center;"> <p>中学校美術教育振興事業</p> </div>				
<p>事業目標 成果指標</p>	<p>市学力・生活実態調査(中2)において「久留米の自然や文化、人々について学ぶことは好きである」の肯定的回答の割合が前年度を上回る</p>	<p>H28 実績 61.1%</p>	<p>H29 実績 65.2%</p>	<p>H30 目標値 H29 実績を上回る</p>	

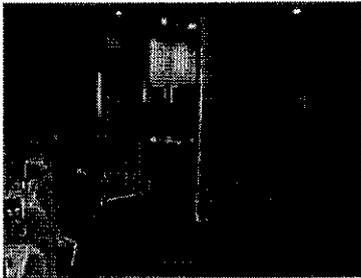
重点事業 2 4

事業名	発達障害早期総合支援事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H28 決算	H29 予算	H30 予算
			3,554 千円	3,578 千円	3,578 千円
事業目的	発達障害を有する児童生徒に対する早期からの支援を行うため、関係機関と連携しながら相談窓口の設置や、効果的な治療プログラムを実施する。				
事業内容	<p>○ 相談・指導教室の設置 久留米特別支援学校に「子ども発達相談教室」を設置し、小学校に在籍する児童を対象とした相談への対応や関係機関とのコーディネートを行う。</p> <p>○ くるめサマー・トリートメント・プログラム (STP) の支援 ADHD のある子どもへの包括的な治療プログラムである「くるめ STP」事業に補助金を交付する。</p> <div style="text-align: center;"> <p>発達障害早期総合支援事業</p> </div>				
事業目標 成果指標	子ども発達相談教室の相談 受付件数の確保	H28 実績	H29 実績	H30 目標値	
		49 件	55 件	52 件	

重点事業 25

事業名	学校施設の整備充実事業			担当課	学校施設課
	事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H28 決算	H29 予算
事業目的	児童生徒の安全を確保し、快適な学習環境づくりに向けて、増改築事業等の整備により学校施設の整備充実を図る。				
事業内容	<p>○校舎等改築事業</p> <p>学校施設の老朽化と学校を取り巻く社会情勢の変化に対応するために、計画的・効率的に改築工事を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日吉小校舎改築事業（グラウンド改修設計） ・篠山小校舎改築事業（校舎改築工事） ・京町小校舎改築事業（屋内運動場改築工事） ・屏水中校舎改築事業（旧校舎解体・外構工事、東校舎内部改修工事等） <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>篠山小完成予定図</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>京町小完成予定図</p> </div> </div> <p>○校舎増築事業</p> <p>学校規模による特別教室不足及び児童数の増加により、校舎増築を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南小学校校舎増築事業（実施設計） ・山川小学校校舎増築事業（実施設計） ・小森野小学校校舎増築事業（基本設計・実施設計）【新規】 <p>※H30 年度は、特に、改築事業における篠山小・京町小屋体について、工事最終年度であることから、これまで以上に学校、関係機関および業者と連絡をとりながら、工期内に事業完了するように事業を行う。</p>				
事業目標 成果指標	実施校 7 校 における 各々の事業 進捗率の目 標値達成	H28 実績	H29 実績	H30 目標値	
		<p>◆改築事業</p> <p>日吉（改築工事） 進捗:100%</p> <p>篠山（改築工事） 進捗:8.3%</p> <p>京町（実施設計） 進捗:100%</p> <p>屏水（改築工事） 進捗:53.5%</p>	<p>◆改築事業</p> <p>日吉（解体工事,防球フェンス工事） 進捗:100%</p> <p>篠山（改築工事） 進捗:52.8%</p> <p>京町（屋体改築工事） 進捗:13.0%</p> <p>屏水（改築工事） 進捗:100%</p> <p>◆増築事業</p> <p>南（基本設計） 進捗:100%</p> <p>山川（基本設計） 進捗:100%</p>	<p>◆改築事業</p> <p>日吉（グラウンド設計） 進捗:100%</p> <p>篠山（改築工事） 進捗:100%</p> <p>京町（屋体改築工事） 進捗:100%</p> <p>屏水（旧校舎解体工事、内部改修工事） 進捗:100%</p> <p>◆増築事業</p> <p>南（実施設計） 進捗:100%</p> <p>山川（実施設計） 進捗:100%</p> <p>小森野（基本・実施設計） 進捗:30%</p>	

重点事業 26

事業名	学校施設の長寿命化事業			担当課	学校施設課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H28 決算	H29 予算	H30 予算
			小 326,202千円 中 200,387千円 特 66,842千円 高 92,169千円	小 394,290千円 中 375,990千円 高 53,159千円	小 400,338千円 中 105,275千円 特 755千円 高 91,585千円
事業目的	学校施設における建替コストの縮減、改修時期の調整による財政の平準化、環境負荷の低減などを図るために、外壁・防水改修工事などの施設の長寿命化を図る。				
事業内容	○H30 年度 学校施設の主な整備内容 <ul style="list-style-type: none"> ・校舎外壁改修工事 2 校(南薫小, 田主丸中) ・校舎防水改修工事 5 校(高良内小, 善導寺小, *荘島小, *荒木小, 江南中) 【設計業務委託 2 校(荒木小, 牟田山中) ・校舎便所改修工事 6 校(津福小, 合川小, 竹野小, 犬塚小, 田主丸小, 諏訪中) 【設計業務委託 1 校(山川小)】 ・校舎内部改修設計業務委託 2 校(特支, 久商) ・屋体外壁改修工事 1 校(久商) ・屋体外部改修設計業務委託 1 校(金丸小) ・屋体内部改修設計業務委託 2 校(大城小, 金島小) ・屋外便所改修設計業務委託 2 校(久商, 南筑) ※は設計を含む				
	【平成 29 年度の主な学校施設の整備実績】				
					
	外壁改修		便所改修		
	※H30 年度も、着実に工期内に事業完了できるよう、関係機関および業者と連絡をとりながら、事業を行う。				
事業目標 成果指標	外壁改修率 及びトイレ 改修率の上 昇	H28 実績	H29 実績	H30 目標値	
		外壁改修率 (モルタル落下対策) 83.8% トイレ改修率 (校舎ドライ化) 65.3%	外壁改修率 (モルタル落下対策) 86.2% トイレ改修率 (校舎ドライ化) 71.2%	外壁改修率 (モルタル落下対策) 87.2% 予定 トイレ改修率 (校舎ドライ化) 76.5% 予定	

重点事業 27

事業名	地域生涯学習振興事業（委嘱学級）			担当課	生涯学習推進課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H28 決算	H29 予算	H30 予算
			7,220 千円	7,600 千円	7,600 千円
事業目的	<p>市民が暮らす一番身近な地域である校区を単位として、教養の向上、健康福祉の増進、人権や環境、防災等の市民ニーズや地域課題に応じた生涯学習活動を推進し、事業を通じた地域コミュニティづくりを図るため、校区コミュニティ組織に対して、委嘱学級の運営に係る財政支援や指導者養成などの支援を行う。</p>				
事業内容	<div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; margin: 0 auto; padding: 5px;">市</div> <div style="margin: 10px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; margin: 0 auto; padding: 5px;"> 校区コミュニティ組織 </div> <div style="margin: 10px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="text-align: center; border-bottom: 1px solid black; margin-bottom: 5px;">委嘱学級</div> <p>全 46 校区の開設に向けて、取り組みを進めており、開設校区増に努めてきた。さらに校区や市民の方に拡げていくためにも、<u>未開設校区の働きかけや校区訪問・学級訪問等</u>を実施し充実させていく。</p> <p>【学級】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆学習時間 年間 12 回（1 回 2 時間程度） ◆学級編成 1 学級 15 人以上（<u>新入生 1 名以上</u>） <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり学級 ・家庭教育学級 ・高齢者学級 ・女性学級 など <p>【学習单元】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権・同和問題（必修） ・男女共同参画（必修） ・健康課題 ・ボランティア ・地域課題 ・福祉課題 ・環境課題 ・防災 など </div> <div style="margin: 10px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; margin: 0 auto; padding: 5px;"> ・生涯学習活動を通じた地域コミュニティづくり </div> </div>				
事業目標 成果指標	市内全 46 校区での開設	H28 実績	H29 実績	H30 目標値	
		42 校区	43 校区	44 校区	

重点事業 28

事業名	体験活動推進事業（少年の翼事業）			担当課	生涯学習推進課																			
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H28 決算	H29 予算	H30 予算																			
			2,853 千円	3,515 千円	2,900 千円																			
事業目的	<p>次代を担う子どもが集い、沖縄での本研修を中心に数回の研修を通じて友情を深めながら、団体生活の楽しさを学び、団体や地域の活動に積極的に参加する子どもを育成することを目的とする。また、青年ボランティアの発掘及び機会提供を行い、次世代リーダー育成を促進する。</p>																							
事業内容	<table border="1"> <tr> <th>② 指導員募集</th> <th>② 研修生(子ども)募集</th> <th>③ 指導員研修</th> </tr> <tr> <td>3月中旬～ 4月下旬</td> <td>4月中旬～ 5月上旬</td> <td>5月下旬～ 6月下旬</td> </tr> <tr> <td>対象：18歳～ 39歳 (高校生除く) 人数：25名程度</td> <td>対象：小学5年生～ 中学生 人数：70名程度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 指導員同士の人間関係づくり ● 安全管理に対する意識づくり ● レクリエーション研修 ● 普通救命講習 </td> </tr> </table>			② 指導員募集	② 研修生(子ども)募集	③ 指導員研修	3月中旬～ 4月下旬	4月中旬～ 5月上旬	5月下旬～ 6月下旬	対象：18歳～ 39歳 (高校生除く) 人数：25名程度	対象：小学5年生～ 中学生 人数：70名程度	<ul style="list-style-type: none"> ● 指導員同士の人間関係づくり ● 安全管理に対する意識づくり ● レクリエーション研修 ● 普通救命講習 	<table border="1"> <tr> <th>④ 事前研修</th> <th>⑤ 本研修</th> <th>⑥ 事後研修</th> </tr> <tr> <td>7、8月(3日) 市内</td> <td>8月(4泊5日) 沖縄</td> <td>9月(1日) 市内</td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 協力し合える関係づくり ● 集団生活における規律の共有 ● 沖縄についての学習 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 地元小学校との交流 ● 沖縄の海での自然体験 ● ひめゆりの塔での平和学習 ● 琉球ガラスコップの製作体験 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● ふりかえり </td> </tr> </table>			④ 事前研修	⑤ 本研修	⑥ 事後研修	7、8月(3日) 市内	8月(4泊5日) 沖縄	9月(1日) 市内	<ul style="list-style-type: none"> ● 協力し合える関係づくり ● 集団生活における規律の共有 ● 沖縄についての学習 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地元小学校との交流 ● 沖縄の海での自然体験 ● ひめゆりの塔での平和学習 ● 琉球ガラスコップの製作体験 	<ul style="list-style-type: none"> ● ふりかえり
	② 指導員募集	② 研修生(子ども)募集	③ 指導員研修																					
	3月中旬～ 4月下旬	4月中旬～ 5月上旬	5月下旬～ 6月下旬																					
	対象：18歳～ 39歳 (高校生除く) 人数：25名程度	対象：小学5年生～ 中学生 人数：70名程度	<ul style="list-style-type: none"> ● 指導員同士の人間関係づくり ● 安全管理に対する意識づくり ● レクリエーション研修 ● 普通救命講習 																					
④ 事前研修	⑤ 本研修	⑥ 事後研修																						
7、8月(3日) 市内	8月(4泊5日) 沖縄	9月(1日) 市内																						
<ul style="list-style-type: none"> ● 協力し合える関係づくり ● 集団生活における規律の共有 ● 沖縄についての学習 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地元小学校との交流 ● 沖縄の海での自然体験 ● ひめゆりの塔での平和学習 ● 琉球ガラスコップの製作体験 	<ul style="list-style-type: none"> ● ふりかえり 																						
<table border="1"> <tr> <td> <p>研修生(子ども)</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 学年や学校を超えた交流によるコミュニケーション能力 ★ 自ら考え行動する自立心 ★ 仲間を思いやれる優しさ </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ★ 新しいことに挑戦する意欲 ★ 地域・学校の活動に進んで参加する積極性 </td> </tr> </table>						<p>研修生(子ども)</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 学年や学校を超えた交流によるコミュニケーション能力 ★ 自ら考え行動する自立心 ★ 仲間を思いやれる優しさ 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 新しいことに挑戦する意欲 ★ 地域・学校の活動に進んで参加する積極性 																	
<p>研修生(子ども)</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 学年や学校を超えた交流によるコミュニケーション能力 ★ 自ら考え行動する自立心 ★ 仲間を思いやれる優しさ 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 新しいことに挑戦する意欲 ★ 地域・学校の活動に進んで参加する積極性 																							
<table border="1"> <tr> <td> <p>指導員</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 体験活動事業の運営についてのノウハウの習得 ★ 指導者としてのスキルの習得 ★ 地域活動への貢献 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ★ 幅広い交友関係の構築 </td> </tr> </table>						<p>指導員</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 体験活動事業の運営についてのノウハウの習得 ★ 指導者としてのスキルの習得 ★ 地域活動への貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 幅広い交友関係の構築 																	
<p>指導員</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 体験活動事業の運営についてのノウハウの習得 ★ 指導者としてのスキルの習得 ★ 地域活動への貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 幅広い交友関係の構築 																							
<p>今後の改善・工夫点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修生の自立心、チャレンジ精神を育むための研修プログラムの構築支援。 ・ 研修生及び指導員が参加しやすい研修日程の検討。 																								
事業目標	参加者の地域や学校等行事への参加意欲度	H28 実績	H29 実績	H30 目標値																				
成果指標	指導員の事業継続参加の意欲度	参加者 85%	参加者 94%	参加者 95%																				
		指導員 40%	指導員 73%	指導員 80%																				

重点事業 29

事業名	歴史博物館整備検討事業			担当課	文化財保護課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H28 決算	H29 予算	H30 予算
			11,597 千円	9,032 千円	10,204 千円
事業目的	多様な生涯学習施設の一つとして、市民がふるさとの歴史や風土など地域の歴史文化を学び、交流するなど、市民の生涯を通じた学習の場として、かつ、魅力ある施設としての整備を図る。				
事業内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 歴史博物館の設置検討、準備 </div> <p>① 地域の歴史や文化を学ぶための資料の調査・収集を行い、保存・修復に努める。</p> <p>② 収蔵資料を効果的に活用するために、展示・公開を図るとともに、歴史博物館建設に向けて、市民の意識高揚を図る。</p>				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 地域の歴史と文化の理解 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 学校と連携し、むかしの暮らしを学び、久留米の成り立ちや風土を考える機会となる企画展を実施する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 生涯学習の一環として、既存の展示スペースを使用して久留米の歴史を学ぶ企画展を実施する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 発掘調査や歴史資料の収集等で得られた新しい情報を随時、発信していく。 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 今後の改善項目 学校現場や地域との連携を強化し、情報発信、資料の貸し出し等の利用を増やしていく。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> 地域を愛する心の醸成 </div>				
事業目標 成果指標	歴史博物館建設に向けて、ソフト面の整備を行う。 歴史資料の調査・保存・修復・収集・購入。 収蔵施設の整備。 歴史資料のデータベース化。	H28 実績	H29 実績	H30 目標値	
		4回の企画展を実施。	3回の企画展を実施。 特別展の実施。1回	展示施設で4回の企画展を行う。	

重点事業30

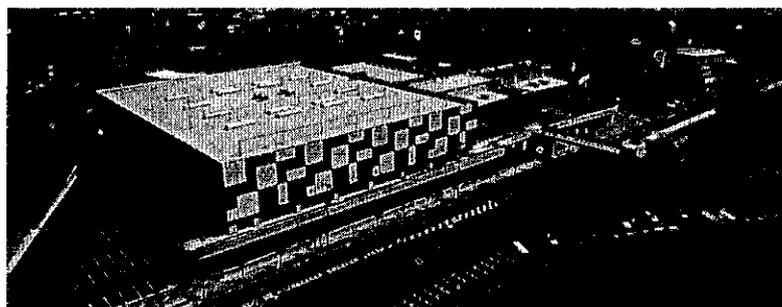
事業名	筑後国府跡歴史公園整備事業			担当課	文化財保護課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H28 決算	H29 予算	H30 予算
			31,976 千円	57,423 千円	12,035 千円
事業目的	<p>古代の役所跡である筑後国府跡を保存整備し、市民が身近な場所で歴史を感じるにより、「まち」に対する愛着心を高めるとともに、その魅力を未来に向けて継承する。</p>				
事業内容	<p>○史跡の適正な管理を通じてその保護を図る。維持的措置として草刈り・清掃等、保存的措置として木柵修繕を実施する。</p> <p>○計画的な土地の公有化を推進するとともに、<u>史跡取扱いの際のルールブックとなる「保存活用計画」策定に着手する。</u>また、整備基本計画の検討を行い、早期の歴史公園化を目指す。</p>				
	<pre> graph TD A[史跡の保存] --> C[史跡の活用] A --> D[史跡の保護] C --> D D --> E[国指定史跡 筑後国府跡の魅力未来へ伝える] </pre> <p>史跡の保存</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草刈り業務等による適正な管理 ・公有化の推進 ・保存活用計画策定の着手 ・計画策定委員会の設置 <p>史跡の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等による情報発信 ・公園整備基本計画の検討 ・基本計画策定委員会の検討 <p>史跡の保護</p> <p>歴史公園を整備することにより、憩いの場・生涯学習の場・学校教育の場・歴史体験（探検）の場などを提供し、ライフステージのあらゆる場面での活用を図る。</p> <p>国指定史跡 筑後国府跡の魅力未来へ伝える</p>				
事業目標 成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・Ⅱ期政庁地区内未公有地の物件調査等の実施 ・草刈り等管理業務の実施 ・保存活用計画策定着手 	H28 実績	H29 実績	H30 目標値	
		<ul style="list-style-type: none"> ・公有化率 85.22% ・管理業務の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・公有化率 85.71% ・管理業務の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・物件調査等 1件実施 ・管理業務の実施 ・保存活用計画策定着手 	

重点事業 3 1

事業名	歴史ルートづくり事業			担当課	文化財保護課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H28 決算	H29 予算	H30 予算
			31,225 千円	15,755 千円	16,258 千円
事業目的	高良山から耳納北麓に数多く存在する歴史・文化遺産を整理・集積し、積極的な情報発信を行うことで、その魅力について市民への再発見を促すとともに、交流人口の増加を目指す。				
事業内容	<p>○歴史・文化遺産などのスポットについて、久留米ならではの魅力が際立つものを、時代・歴史的背景・伝承などの共通項目(=テーマ)で結びつけ、興味を引くようなストーリーとして組み立てる。</p> <p>○それらのストーリーを構成する各スポットを紹介するイベント等を通じ、久留米の歴史の魅力を伝え集客につなげる。</p> <p>○また、エリア内の歴史遺産の調査を推進し、基礎資料を作成するとともに歴史的背景の検証によるエリア固有のストーリーの充実を図る。</p> <p>○併せて、ストーリーの要所となるスポット拠点、及びスポット間の行程の整備を行い、安全安心なルートを確保する。</p> <p>○昨年度は、戦国時代の高良山をテーマに、歴史ストーリーをまとめたストーリーシートを作成し、そのストーリーに基づいて「攻める戦国高良山」と題したイベントを開催し、300名の参加者があった。</p> <p>○本年度も、市内の歴史遺産についての情報発信のため、ストーリーシートの作成とイベントの実施を予定している。</p>				
事業目標 成果指標	平成31年度までに歴史関連イベントでの集客5,000人	H28 実績	H29 実績	H30 目標値	
		歴史ルートの設定	歴史ルートを活用したイベントの開催 実績 3,955 名	ストーリーの組み立て3件 ルート上の史跡等の整備計画の検討 イベント開催	

重点事業 3 2

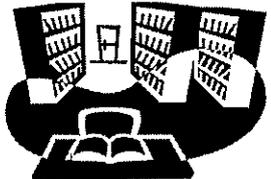
事業名	MICE誘致推進事業			担当課	体育スポーツ課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H28 決算	H29 予算	H30 予算
			7,005 千円	9,914 千円	23,764 千円
事業目的	平成 30 年 6 月にオープンした久留米アリーナや平成 32 年東京オリンピック・パラリンピックの開催などを見据え、全国・九州規模のスポーツ大会の誘致や事前キャンプ地誘致を推進する。				
事業内容	<p>(1) オリンピック・パラリンピック等事前キャンプ誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> 福岡県・競技団体等と連携した海外オリンピック委員会及び競技団体への誘致活動 基本合意に至ったケニア共和国に対しては、受入競技等をはじめとした詳細について協議を進める。 <p>(2) オリンピック・パラリンピックに関連した機運醸成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 久留米市でキャンプを実施する国に対して、市民が親しみを持てるような取り組みを進める。 2020年に向けて市民が一体となって盛り上がるための取り組みを進める。 キャンプ等をオール久留米で受入れるための取り組みを進める。 <p>(3) 大規模スポーツ大会誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> 久留米アリーナをはじめとしたスポーツ施設を最大限活用し、競技団体等と共に大規模スポーツ大会の誘致を進める。 				
事業目標 成果指標	<ul style="list-style-type: none"> 東京 2020 オリパラのキャンプを誘致し、機運の醸成を行う。 大規模大会を誘致する。 	H28 実績	H29 実績	H30 目標値	
		<ul style="list-style-type: none"> キャンプ及び大規模大会の誘致活動 	<ul style="list-style-type: none"> ケニアキャンプ基本合意 全日本実業柔道大会等 	<ul style="list-style-type: none"> カザフスタンキャンプ基本合意 大規模大会誘致 	



重点事業 3 3

事業名	子どもの読書環境整備事業			担当課	中央図書館							
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H28 決算	H29 予算	H30 予算							
			5,413 千円	6,188 千円	5,977 千円							
事業目的	<p>(1) 「久留米市子どもの読書活動推進計画」に基づき、子どもが心豊かな生活を送れるよう本との出会いと読書習慣の定着を進めるための環境を整備する。</p> <p>(2) 子どもと絵本をつなぐきっかけづくりを目的として、子どもの健やかな成長などにも効果があるブックスタート事業を実施する。</p>											
事業内容	<p>●計画の基本方針</p> <p>1. 市民、地域、行政の連携協力</p> <p>2. 子どもの読書活動のための環境整備の推進</p> <p>3. 子どもの読書活動推進を支える理解と関心</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>●5.1の施策</p>											
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">家庭・地域</th> <th style="width: 25%;">幼稚園・保育所 認定こども園</th> <th style="width: 25%;">学 校</th> <th style="width: 25%;">図 書 館</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ブックスタート ○家読の推進など (13項目)</td> <td>○読み聞かせ実 施 ○絵本スペース 整備など(3 項目)</td> <td>○全校一斉読書 ○司書教諭・学校 図書館司書配置 研修充実など (5項目)</td> <td>○児童図書整備 ○資料リスト作成 ○ブックトークな ど読書に関心を 高める催事開催 など(30項目)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">○子どもの読書活動を社会全体で支えていく</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">第3次計画(H29~H31)の実施</p> <p>●平成29年度は、学校司書との研修会や中高生を対象にしたビブリオバトルを実施。</p> <p>平成30年度も、ブックスタートや家読を中心に家庭や地域での子ども読書を推進するとともに、学校司書研修会等により学校との連携を進めていく。</p>					家庭・地域	幼稚園・保育所 認定こども園	学 校	図 書 館	○ブックスタート ○家読の推進など (13項目)	○読み聞かせ実 施 ○絵本スペース 整備など(3 項目)	○全校一斉読書 ○司書教諭・学校 図書館司書配置 研修充実など (5項目)
家庭・地域	幼稚園・保育所 認定こども園	学 校	図 書 館									
○ブックスタート ○家読の推進など (13項目)	○読み聞かせ実 施 ○絵本スペース 整備など(3 項目)	○全校一斉読書 ○司書教諭・学校 図書館司書配置 研修充実など (5項目)	○児童図書整備 ○資料リスト作成 ○ブックトークな ど読書に関心を 高める催事開催 など(30項目)									
事業目標 成果指標	平成30年度末の児童図書数：255,000冊	H28 実績	H29 実績	H30 目標値								
		246,142 冊	251,281 冊	255,000 冊								

重点事業34

事業名	図書館整備事業			担当課	中央図書館
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H28 決算	H29 予算	H30 予算
			74,829 千円	57,933 千円	61,439 千円
事業目的	快適な読書空間の提供と図書館機能の充実に向け、その基盤整備及び利用者サービスを図り、生涯学習ニーズに対応する。				
事業内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 図書館整備・図書館資料の充実 </div>				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○図書館施設・機能の整備充実 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の安全確保、長寿命化及び備品の整備 ・資料の購入寄贈等：図書及びAV 約25,500点 雑誌 約800点 ○福祉サービスの提供と市民との協働 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアとの協働→録音点字図書の製作や活用、対面朗読 ○図書館困難者へのサービス提供 <ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館や団体貸出など </div>				
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ◎図書館サービスの充実 ◎利用者・貸出冊数の増加 </div>					
<p>○平成29年度は、DVD・CD貸出コーナーの3階から1階玄関前への移設や、郷土史講座・健康講座を開催した。</p> <p>平成30年度は、築40年からなる施設の安全対策に力を入れると共に、各種行事の開催など多様な図書館サービスを提供していく。</p>					
					
事業目標 成果指標	平成30年度 貸出者数： 390,000人 貸出冊数： 1,600,000冊 (市民センター図書室などを含まない。)	H28 実績	H29 実績	H30 目標値	
		389,075人 1,559,146冊	382,974人 1,522,107冊	390,000人 1,600,000冊	

重点事業35

事業名	人権教育・啓発推進事業			担当課	人権・同和教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H28 決算 7,110千円	H29 予算 7,110千円	H30 予算 7,110千円
事業目的	<p>学園(保育園、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、高等学校他)及び地域(家庭、小学校区人権啓発推進協議会、企業等)の連携により地域に根ざした人権教育・啓発活動を推進し、もって差別をなくす意思と実践力を身につけた豊かな人権感覚を持った市民の育成を図ることを目的とする。</p>				
事業内容	<div style="text-align: center;"> <p>部落差別をはじめとするあらゆる人権問題を解決するための 正しい認識と行動力を持った市民の育成</p> <p>(中学校区人権のまちづくり推進協議会の主な取組)</p> <p>全体：人権課題を解消していく主体者を育成する人権フェスタ、人権講座等の開催</p> <p>地域：家庭、地域住民、企業等が参加する人権講演会等の開催</p> <p>学園：保・幼・小・中・特支・高などの連携の中で、連絡会・授業公開・実践レポート交流会・人権カリキュラムの検討・合同での進路・学力保障、人権・部落問題学習会等の取組</p> </div>				
事業目標 成果指標	各中学校区人権のまちづくり推進協議会の活動の活性化を図り、「差別をなくす努力をする」市民の割合50%以上	H28 実績 25.5% 【参考】 市民意識調査	H29 実績 47.2% 【参考】 くるモニ	H30 目標値 50%以上	